

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第71集

市内遺跡発掘調査報告書 1997

1999. 3

佐久市教育委員会

例 言

1. 本書は、1997 年度（平成 9 年度）において個人住宅、民間開発及び公共開発に係る試掘調査並びに立ち会い調査を実施した市内遺跡発掘調査報告書である。

2. 事務局の構成

1998 年度（平成 10 年度）

◎発掘調査受託者 教育長 依田英夫

事務局

教 育 次 長 北 沢 馨

埋蔵文化財課長 須江 仁胤

埋蔵文化財係長 荻原 一馬

埋 蔵 文 化 財 係 林 幸彦 三石 宗一 須藤 隆司 小林 眞寿

羽毛田 卓也 富沢一明 上原 学

調 査 主 任 佐々木 宗昭 森泉 かよ子

3. 各遺跡の執筆は発掘担当者が行い、編集は富沢が行った。

4. 本書掲載の関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管してある。

目 次

1. 宮の上遺跡群 割地遺跡 ----- 1	21. 久禰添遺跡 I ----- 28
2. 蛇塚 B 遺跡群 2 ----- 3	22. 根々井大塚古墳 2 ----- 30
3. 立石遺跡 4 ----- 4	23. 跡坂遺跡群 跡坂遺跡 ----- 32
4. 立石遺跡 5 ----- 5	24. 岩村田遺跡群 柳堂遺跡 ----- 33
5. 西妻神遺跡 ----- 6	25. 岩村田遺跡群 菅田遺跡 V ----- 35
6. 西久保古墳群 ----- 7	26. 深堀遺跡群他 3 ----- 36
7. 中原遺跡群 12(隣接) ----- 9	27. 新町遺跡 4 ----- 38
8. 西大久保遺跡群 西大久保遺跡Ⅲ -- 10	28. 石附遺跡Ⅳ ----- 39
9. 前田遺跡群 2 ----- 12	29. 松の木遺跡(隣接) ----- 40
10. 平賀城跡 4 ----- 14	30. 中原遺跡群 梨の木遺跡Ⅳ ----- 41
11. 西大久保遺跡群 5 ----- 16	31. 市道遺跡Ⅱ ----- 42
12. 枇杷坂遺跡群 下穴虫遺跡 I ----- 17	32. 前田遺跡群 3 ----- 44
13. 岩村田遺跡群 ----- 18	33. 戸坂遺跡群 供養塚遺跡 ----- 45
14. 芋の原遺跡群 ----- 21	34. 白拍子遺跡群 4 ----- 46
15. 中鳴沢遺跡群 ----- 22	35. 戸坂遺跡群 四ッ塚遺跡 I --- 48
16. 志賀神明の木遺跡 ----- 23	36. 番屋前遺跡群 10 ----- 50
17. 藤塚遺跡 3 ----- 24	37. 小池遺跡 ----- 52
18. 西大久保遺跡群 6 ----- 25	38. 野沢館跡 2(隣接) ----- 53
19. 下蟹沢遺跡 2 ----- 26	39. 金山遺跡 2(隣接) ----- 55
20. 枇杷坂遺跡群 13 ----- 27	40. 前田遺跡群 4 ----- 56

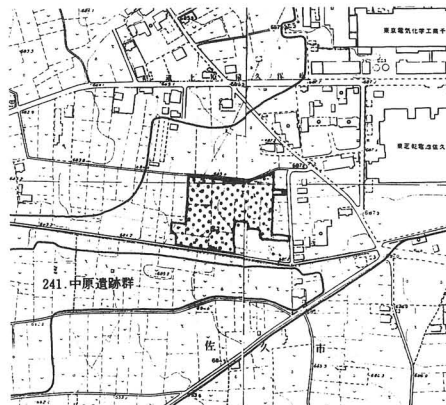
付表 1997年度市内遺跡発掘調査一覧表

付図 1997年度市内遺跡発掘調査位置図

試掘調査

1 宮の上遺跡群 割地遺跡

所在地 佐久市大字横和字割地 211-1 外 15 筆
開発主体者 社団法人佐久市開発公社
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成 9 年 4 月 1 日～ 4 月 11 日
面積 10890.24 m²
調査担当者 羽毛田卓也



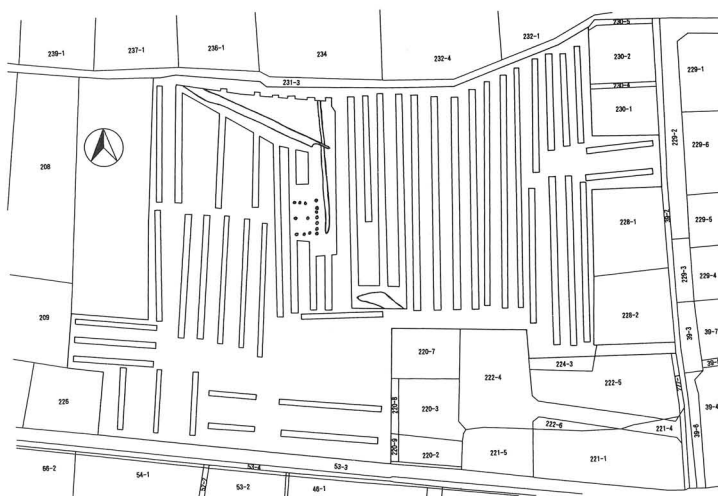
割地遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

宮の上遺跡群は佐久市中央部に展開する縄文時代から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の調査地点は、遺跡群南東端の带状台地中央に位置する。今回佐久市開発公社による宅地造成事業が計画されたため試掘調査を行った。

調査の結果

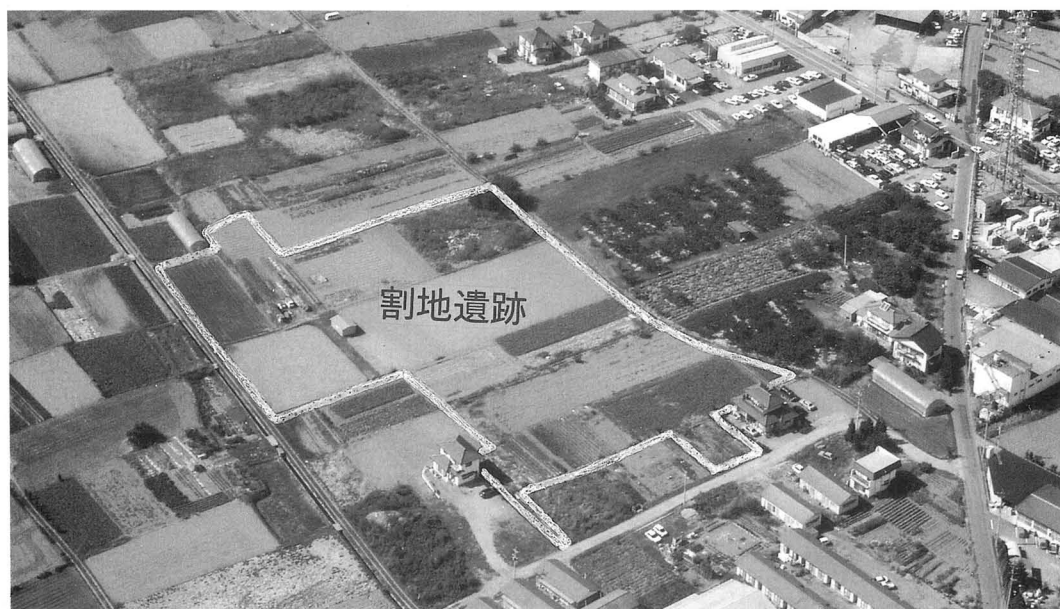
対象地全体に計 46 本のトレンチを掘削した結果、溝状遺構 3 条とピット群が検出された。遺物は、石鏃や土師器・陶磁器などが出土した。



宮の上遺跡群試掘トレンチ設定図 (1:2,000)



宮の上遺跡群トレンチ掘削状況（北東より）

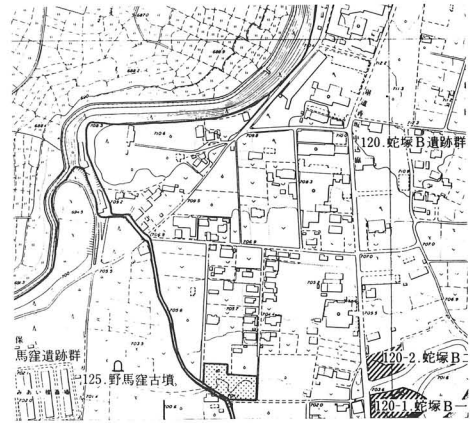


宮の上遺跡群（割地遺跡）遠景（上空より）

試掘調査

2 蛇塚 B 遺跡群 2

所在地 佐久市大字新子田字野馬久保1930.1931
開発主体者 与志本林業株式会社
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成9年4月3・4日
面積 2,904m²
調査担当者 須藤 隆司



蛇塚B遺跡群位置図（1：10,000）

立地と経過

蛇塚B遺跡群は、佐久市大字新子田に所在し、湯川と南北に伸びる田切地形に挟まれた帯状台地上に立地する。本調査地点の野馬久保遺跡では、平成2・3年に調査が行われ、平安時代の住居址・溝状遺構が確認されている。

今回、与志本林業株式会社により遺跡群内に宅地造成事業が行われることになり、遺構・遺物の有無を確認するため試掘調査を行った。



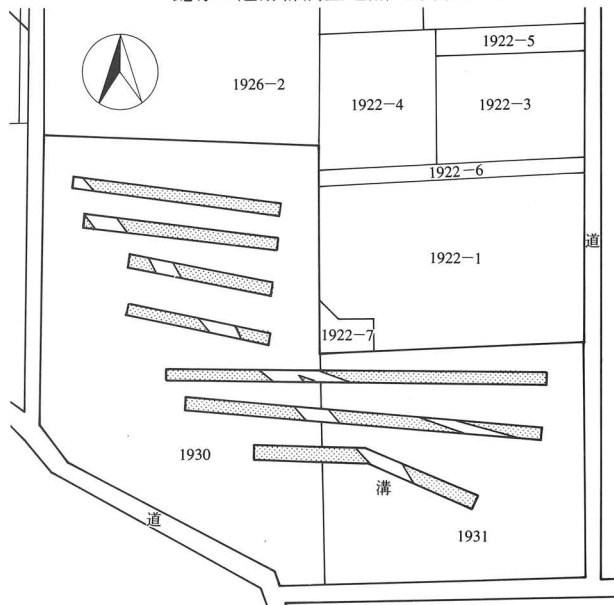
蛇塚B遺跡群調査地点（東方から）

調査の結果

右図のように東西7本のトレンチを設定し、遺構・遺物の確認調査を行った。

その結果、開発対象地全体に溝状遺構が広がっていることが確認された。また遺構上部から平安時代の土師器片が検出された。

以上の結果により再協議が行われ、平成9年5月に発掘調査が実施される運びとなった。



蛇塚B遺跡群調査全体図（1：1,000）

試掘調査

3 立石遺跡 4

所在地 佐久市大字根岸字立石3872-1外10筆

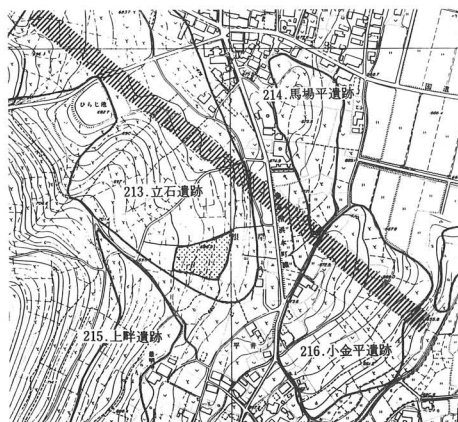
開発主体者 山浦太郎

開発事業名 農地造成

調査期間 平成9年4月16・17日

面積 6,783m²

調査担当者 須藤 隆司



立石遺跡位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

立石遺跡は、佐久市大字根岸に所在し北八ヶ岳山麓末端の扇状地状台地に立地する。昭和56年に一部発掘調査が実施され、時期未確定の土抗が検出された。また、分布調査で縄文・古墳時代・中世の遺物が採集されている。

今回、山浦太郎氏による農地造成が遺跡内に計画されたため、事前に試掘調査を行った。



立石遺跡調査地点 (西方から)

調査の結果

現地形の変更がない箇所を除外し、開発による削平範囲を対象に右図のようにトレンチ8本を設定し、遺構・遺物の確認調査を行った。

図右端のトレンチ箇所はすでに削平されており遺構は確認できなかった。また左側のやや平坦な地形にあるトレンチ箇所においても遺構・遺物は検出されなかった。

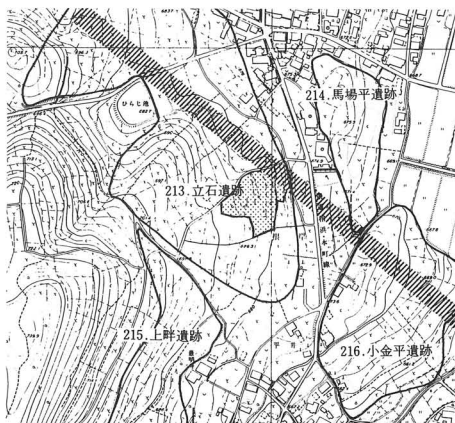


立石遺跡調査全体図 (1 : 1,500)

試掘調査

4 立石遺跡 5

所在地 佐久市大字根岸字立石3870-1外5筆
開発主体者 株式会社中木屋
開発事業名 駐車場造成
調査期間 平成9年4月16・17日
面積 3,883m²
調査担当者 須藤 隆司



立石遺跡位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

立石遺跡は、佐久市大字根岸に所在し北八ヶ岳山麓末端の扇状地状台地に立地する。昭和56年に一部発掘調査が実施され、時期未確定の土抗が検出された。また、分布調査で縄文・古墳時代・中世の遺物が採集されている。

今回、株式会社中木屋による駐車場造成が遺跡内に計画されたため、事前に試掘調査を行った。

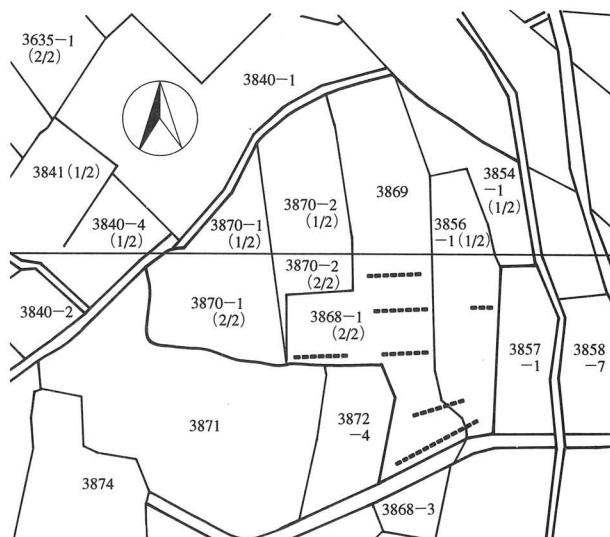


立石遺跡調査地点 (西方から)

調査の結果

現地形の変更がない箇所を除外し、開発による削平範囲を対象に、右図のように東西傾斜方向にトレンチ7本を設定し、遺構・遺物の確認調査を行った。

結果は、調査箇所が斜面地であることすでに大半の箇所が削平されていたことから、遺構・遺物は確認されなかった。



立石遺跡調査全体図 (1 : 1,500)

試掘調査

5 西妻神遺跡

所在地 佐久市大字中込字西妻神3252-2

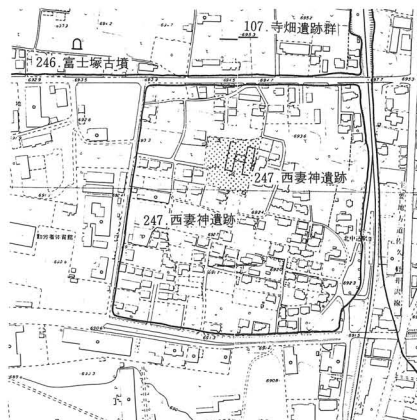
開発主体者 TDK株式会社

開発事業名 社員寮建設

調査期間 平成9年5月6日

面積 5,042.70㎡

調査担当者 小林真寿



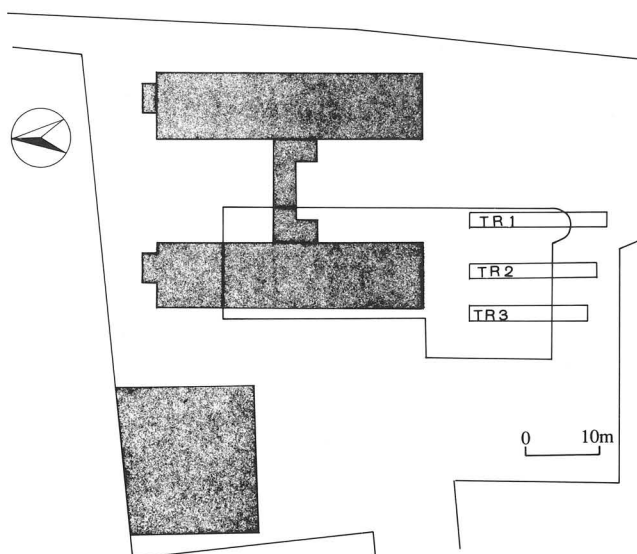
西妻神遺跡位置図（1：10,000）

立地と経過

西妻神遺跡は、北を寺畑遺跡群に、東を番屋前遺跡群に接した東西320m×南北330mの比較的小範囲に展開する弥生・平安時代の遺跡であり、遺跡の大部分は現在宅地になっている。今回、遺跡内においてTDK株式会社による社員寮の建て替えが計画されたため事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

建物の建設部分に南北方向にトレンチ3本を地表下0.45mに存在する浅間山第1軽石流の2次堆積層の上面を検出面として掘削したが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



西妻神遺跡調査全体図

試掘調査

6 西久保古墳群

所在地 佐久市大字平賀城平4643番外
開発主体者 トーヨコ地所株式会社
開発事業名 宅地造成に伴う公園造成
調査期間 平成9年5月21～23日
面積 2.629m²
調査担当者 小林真寿



西久保古墳群位置図（1：10,000）

立地と経過

西久保古墳群は、常和集落の北方に、東西から南西にのびる尾根上の南斜面に構築された8基からなる古墳群である。この尾根上には平賀城跡とこれに伴う幾つかの郭とともに、西久保古墳群の所在する反対斜面には、萩元古墳や松井日影古墳群が存在しており、古墳字時代には墓域として、中世には山城として活用された場所である。平成3年度に今回の宅地造成事業に係わる遺跡の有無についての試掘調査は終了しているが、造成地内に存在する450-4、450-2の2基の古墳をそれぞれ主体とする公園化による保存がトーヨコ地所株式会社より提示されたため、両古墳の規模・残存状態を把握するための試掘調査を実施した。

調査の結果

2基ともに、墳丘及び周囲の耕作土を除去し外護列石と周溝の有無を確認した。

450-4号墳は、畑の造成時に古墳の輪郭をそのまま利用したらしく、残存している奥壁の後方（北）と東側にかけてが外護列石の位置と思われるが、周溝も含めたその他の外護列石は残存しておらず確認できなかった。

結果として、直径16mの範囲を盛土して保存することとなった。

450-2号墳は外護列石、周溝ともに残存していた。周溝を含めた直径14m、含めない直径8.5mの円墳を盛土して保存することとなった。本基は残存状態が良好であり、一本松古墳群第3号墳に極めてよく似た構造であることがはんめいした。

保護協議等終了後開発事業そのものが、資金難から工事途中で中断された状態になり、今日に至っている。現状においては古墳は保存された状態であるが、今後の開発行為に注意が必要である。



西久保古墳群450-4号墳

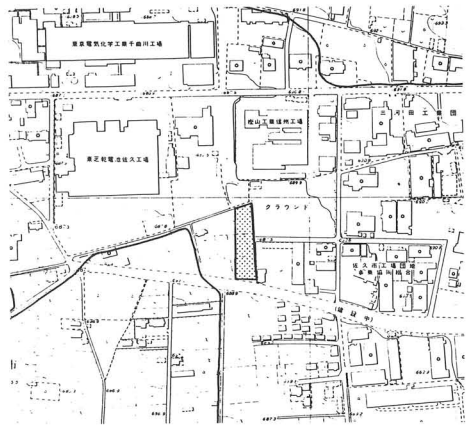


西久保古墳群450-2号墳

試掘調査

7 中原遺跡群(隣接)12

所在地 佐久市大字根々井字南原 1-1
開発主体者 佐久市土地開発公社
開発事業名 工業用地造成
調査期間 平成9年5月27日
面積 2,500m²
調査担当者 須藤 隆司



中原遺跡群(隣接)位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

中原遺跡群は佐久市大字根々井に所在し、千曲川の支流滑津川右岸の段丘上に立地する。昭和58・59年に行われた佐久市遺跡詳細分布調査では縄文時代から中世にかけての遺物が採集されている。

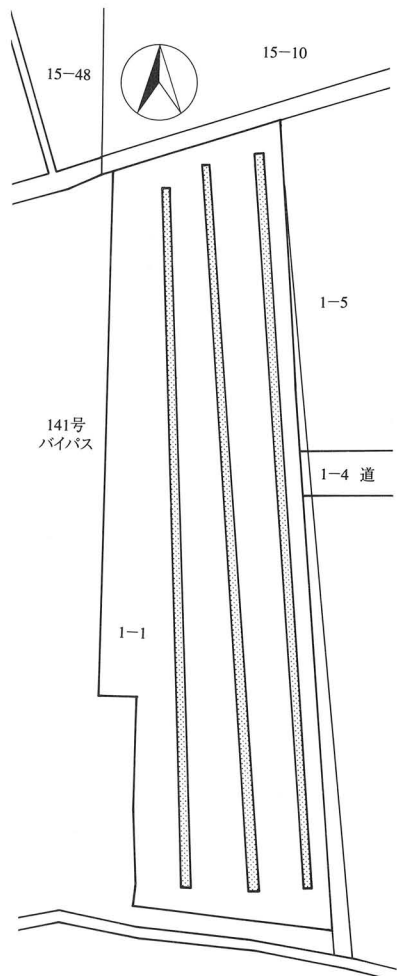
今回、佐久市開発公社により工業用地造成事業が本遺跡群の隣接地に計画されたため、遺跡の広がりを確認する目的で試掘調査を行った。

調査の結果

開発予定地内に南北3本のトレンチを設定して、遺構・遺物の確認を行った。調査の結果、遺構・遺物ともに検出されず遺跡の広がり確認されなかった。



中原遺跡群(隣接)調査地点 (南方から)



中原遺跡群調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

8 西大久保遺跡群

西大久保遺跡Ⅲ

所在地 佐久市大字上平尾字西大久保651-1他

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良工事

調査期間 平成9年5月28日

面積 1260㎡

調査担当者 富沢 一明



西大久保遺跡群 位置図 (1:10,000)

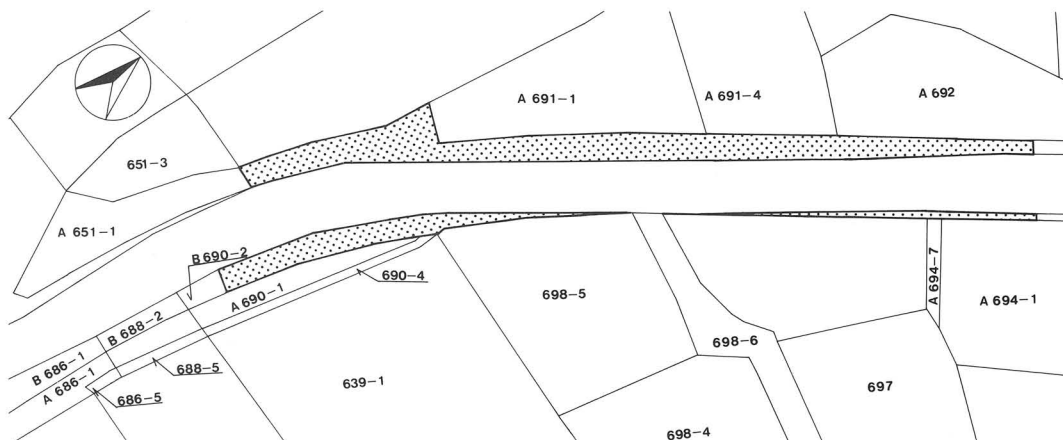
立地と経過

西大久保遺跡群は佐久市北東部の上平尾地区にあり、「田切り地形」の発達した台地上にある。遺跡付近の標高は732m前後を測る。周辺の遺跡としては、上信越自動車道建設により東大久保遺跡、西大久保遺跡、腰巻遺跡などが調査され、古墳時代前期初頭や平安時代末の竪穴住居址等が検出されている。また、遺跡群の北方には平尾氏の居城と考えられる白岩城が存在する。

今回、遺跡群内に佐久建設事務所により道路改良事業が計画され、遺構の有無を確認するため試掘調査をする事となった。

調査の結果

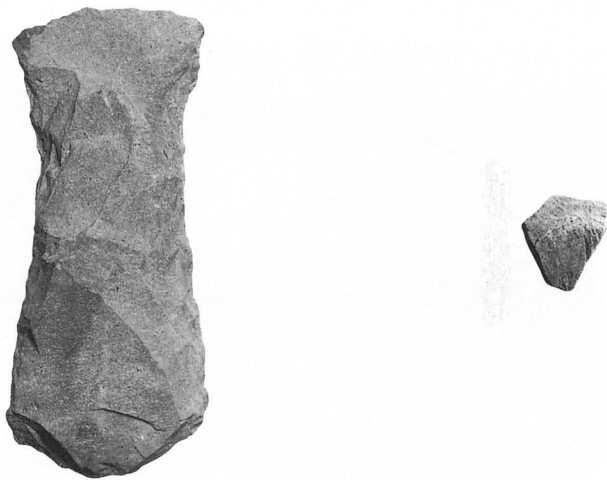
道路拡幅部分に幅1mのトレンチを設定し試掘調査を行った。その結果、幅2.5m～3mの溝状遺構が確認された。覆土の状況により中世の所産と考えられ、東側に広がる中世集落址の西側区画溝か、或いは北に存在する白岩城に関連するものとも考えられた。遺物は石斧と土師器坏が出土した。調査の結果をうけて保護協議がなされたが、設計変更は難しく記録保存を目的とする発掘調査を行うこととなった。



西大久保遺跡群調査全体図 (1:1,000)



トレンチ掘削状況（北より）



試掘調査出土遺物

試掘調査

9 前田遺跡群 2

所在地 佐久市大字塚原字宮ノ前
873-1・4・6・11

原因者 佐久建設事務所

開発事業 県単道路改良事業（新幹線関連）

調査期間 1997年6月5・6日

調査対象面積 391.68m²

調査担当者 林 幸彦



前田遺跡群 位置図（1：10,000）

立地と経過

前田遺跡群は、上塚原の集落と重なるように拡がっている。弥生時代～平安時代の複合遺跡群である。標高667～685mを測る。遺跡群内の諏訪神社境内東端には、宮の塚古墳が横穴石室を見せている。今回、佐久建設事務所が県道小諸・中込線改良工事を計画したので、事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

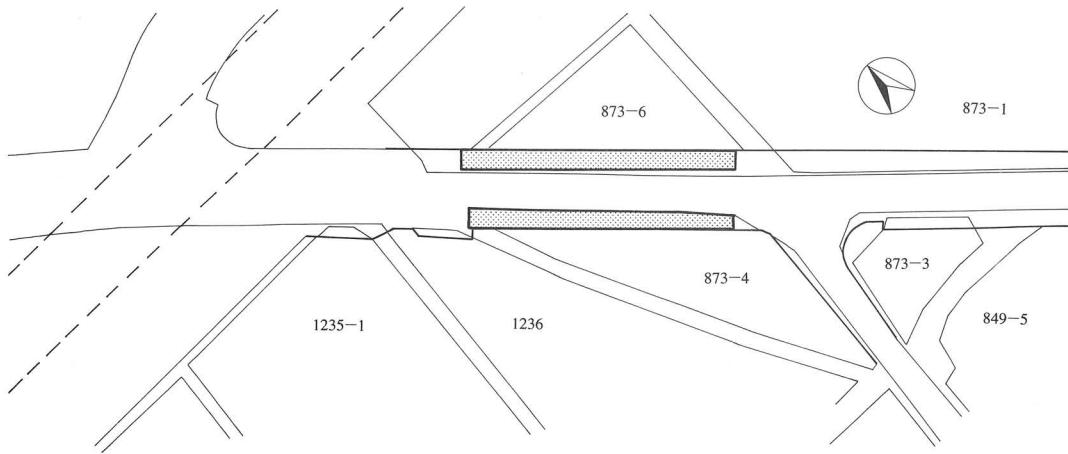
現道が拡幅される部分の表土を剥ぎ遺構の確認を行った。表土下0.3～0.8mで塚原泥流が検出された。その上部の浅い部分は削平され、深い部分には盛り土がみられた。一帯には塚原泥流の丘が多くみられ本調査地点にも低い丘が存在していたものと思われる。

この塚原泥流の残丘裾部には、低地に続く緩斜面があって、いくつかの集落遺跡が調査されている。松ノ木遺跡、藤塚遺跡、常田居屋敷遺跡群などが代表的な遺跡である。

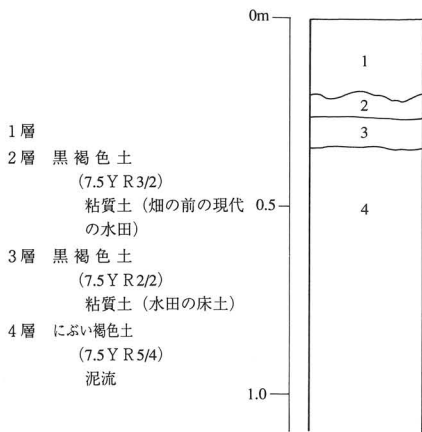
今回の調査では、遺構遺物とも検出されなかった。



前田遺跡群2 調査地点近景（南方から）



前田遺跡群 2 調査全体図 (1 : 500)



前田遺跡群 2 土層柱状図

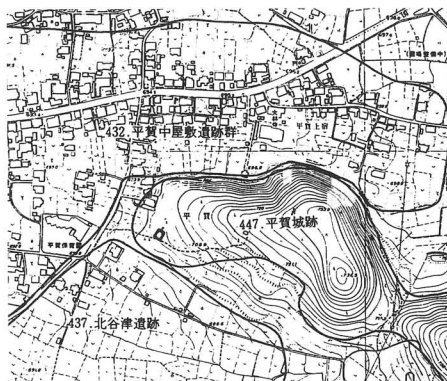


前田遺跡群 2 調査地点近景 (南方から)

試掘調査

10 平賀城跡 4

所在地 佐久市大字平賀字北谷津 4388-1
開発主体者 宗教法人 大林寺
開発事業名 墓地団地増設造成工事
調査期間 平成9年6月10日から6月13日
面積 845 m²
調査担当者 羽毛田卓也



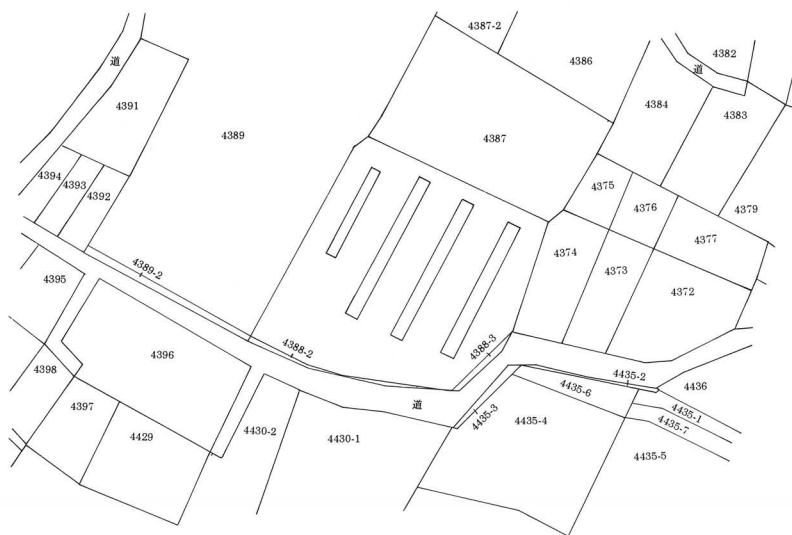
平賀城跡位置図(1:10,000)

立地と経過

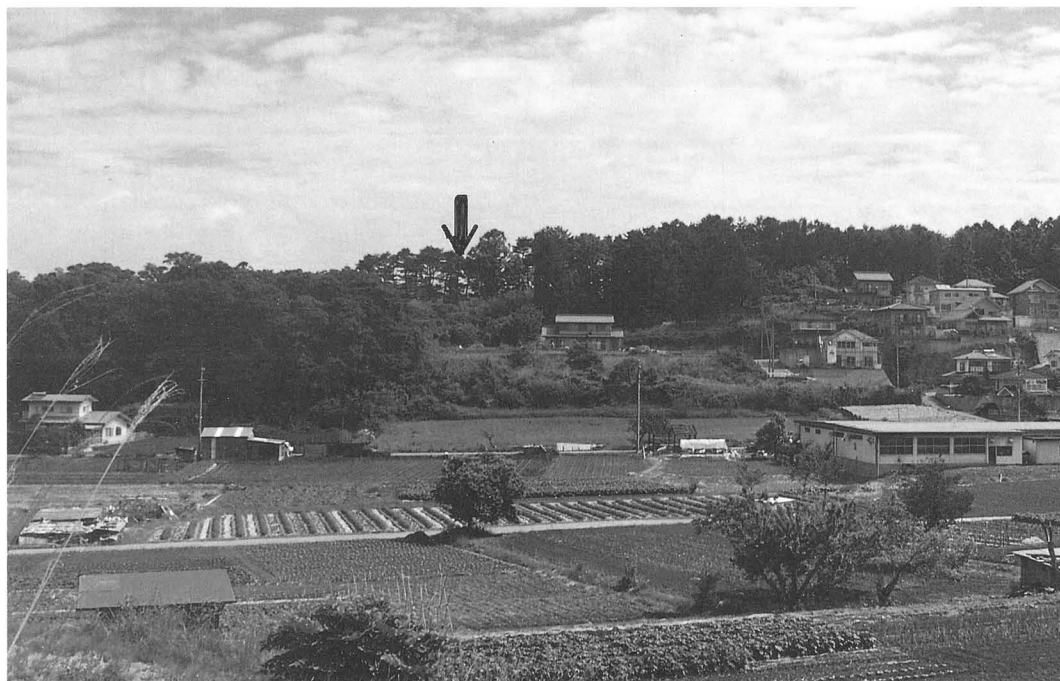
平賀城跡は佐久市南西部に展開する中世城郭である。今回の調査地点は、城郭南西端の南西緩斜面に位置する。今回大林寺による墓地団地増設造成工事が計画されたため試掘調査を行った。

調査の結果

対象地の南北方向に4本のトレンチを掘削した結果、遺構・遺物ともに確認されなかった。表土は3層に分割され30 cm程度で砂礫質の岩盤に到達する。



平賀城跡試掘トレンチ設定図(1:1,000)



平賀城跡遠景（南より、矢印が調査地点）



平賀城跡トレンチ掘削状況（南方より）

試掘調査

11 西大久保遺跡群 5

所在地 佐久市大字上平尾字六間539-1
開発主体者 富士ケミカル株式会社
開発事業名 倉庫建設
調査期間 平成9年6月17日
面積 1,259㎡
調査担当者 須藤 隆司



西大久保遺跡群位置図（1：10,000）

立地と経過

西大久保遺跡群は、佐久市大字上平尾に所在し、田切低地に挟まれた火砕流（浅間第一火砕流）台地に立地している。

今までの発掘調査では、縄文時代から平安時代までの遺物・遺構が検出されている。

今回、富士ケミカル株式会社が本遺跡群内に倉庫建設事業を計画したため、事前に試掘調査を実施した。

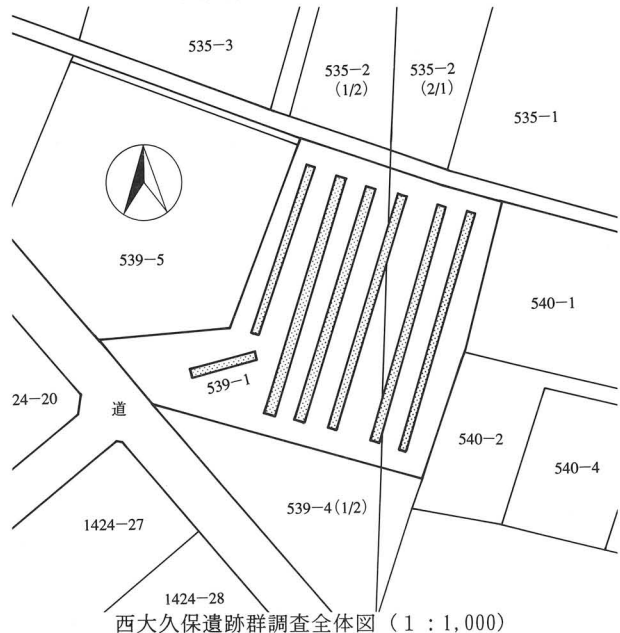


西大久保遺跡群調査地点（南方から）

調査の結果

右図のようにトレンチ7本を設定し、遺構・遺物の確認調査を行った。

結果は、耕作土から浅間第一軽石流に至るまでに若干の黒褐色土が存在したが遺構・遺物ともに検出されず、調査を終了した。



西大久保遺跡群調査全体図（1：1,000）

試掘調査

12 枇杷坂遺跡群

下穴虫遺跡Ⅰ

所在地 佐久市大字岩村田字下穴虫

241-1・4

開発主体者 有限会社 サンコー地所

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成9年6月19・24・27日

面積 1,406㎡

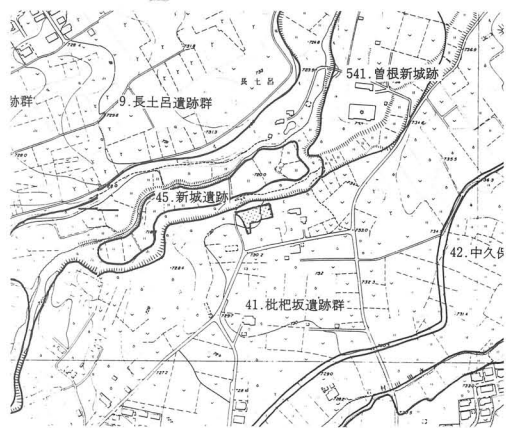
調査担当者 三石 宗一

立地と経過

枇杷坂遺跡群は佐久市の北部にみられる「田切り地形」に挟まれた台地上に存在し、下穴虫遺跡Ⅰは遺跡群の中央北端部に位置する。本遺跡群内では、区画整理事業他に伴い、平成元年度から平成6年度に上久保田向遺跡Ⅰ～Ⅶの発掘調査が行われ、平安時代を中心とする竪穴住居址44棟等が調査されている。また、今回の調査地の西側に隣接する地域は、平成8年度に試掘調査が実施されている。今回、有限会社サンコー地所により宅地造成事業が行われることになり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

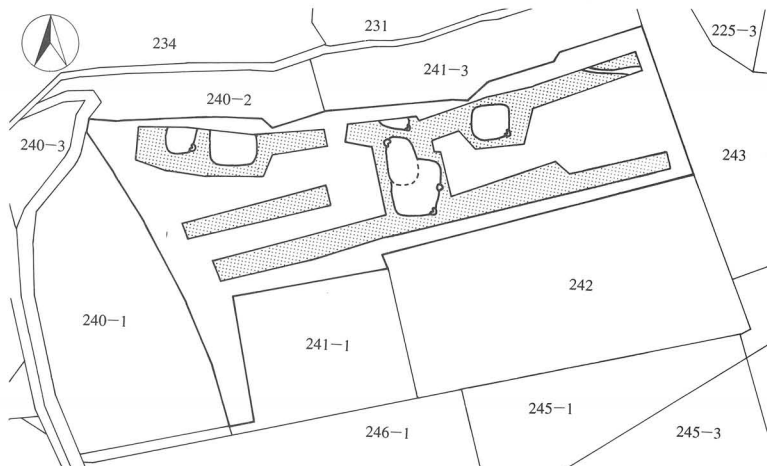
開発予定地内に東西4本のトレンチを掘り下げ、遺構の確認を行った。調査の結果、平安時代の竪穴住居址6棟、溝状遺構1条が確認され、試掘調査終了後保護協議を行い、破壊の免れない道路部分について平成9年度に発掘調査を行い、他は埋土保存することとなった。



枇杷坂遺跡群下穴虫遺跡Ⅰ位置図（1：10,000）



遺構検出状況（西方から）

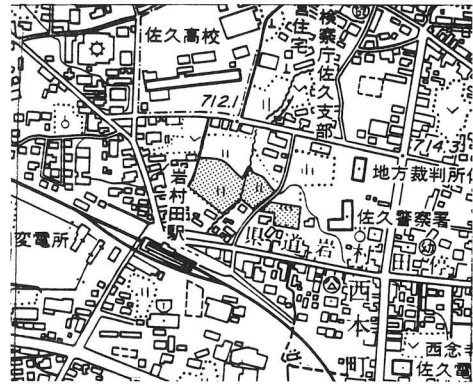


枇杷坂遺跡群下穴虫遺跡Ⅰ調査全体図（1：1,000）

試掘調査

13 岩村田遺跡群18

所在地 佐久市大字岩村田字諏訪宮 1125他
開発主体者 佐久市（区画整理課）
開発事業名 岩村田西本町沿道土地区画整理事業
調査期間 平成9年7月22日～8月1日
面積 6,072m²
調査担当者 三石 宗一



岩村田遺跡群 位置図（1：10,000）

立地と経過

岩村田遺跡群は、岩村田市街地北半から仙祿湖東方まで展開しており、佐久市遺跡詳細分布調査等により弥生時代から中世にかけての大遺跡群であることが知られている。標高は702～737mを測る。北方の仙祿湖付近には、湯川の他に濁川などの河川による田切り地形が発達しており、急峻な谷がみられ、この田切りに挟まれた台地上には本遺跡群の他、枇杷坂遺跡群・周防畑遺跡群・長土呂遺跡群・芝宮遺跡群などをはじめとする多くの遺跡群が存在している。南方の岩村田市街地付近に至ると、北方の田切り地形の末端部に位置し、田切り台地が谷底との比高差を減少し微高地が形成されており、この微高地上に多くの遺跡が存在している。昭和59～62年度に発掘調査された菅田遺跡Ⅰ～Ⅲ・新町遺跡Ⅰ～Ⅲの調査では、ローム層上に砂層・黒色土の厚い堆積がみられ、現状ではほぼ平坦に見える地形も旧状では幾筋かの谷状の低湿地が存在することが確認されている。さらに湯川を臨む東端部には、県指定史跡である大井城跡（石並城跡・王城跡・黒岩城跡）が存在する。また、今回の調査地の西側では、清水田遺跡、円正坊遺跡Ⅰ・Ⅱの発掘調査が行われている。

今回、佐久市（区画整理課）により岩村田西本町沿道土地区画整理事業が行われることになり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行うこととなった。

調査の結果

今回の調査地は大きく4カ所に分かれているため、各地区をA・B・C・D地区として調査を行った。以下に各地区毎に調査概要を記しておきたい。

A地区

今回の調査地の南端部にあたり、岩村田駅の東側に位置する。東西2本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。調査の結果、30cmの厚さで堆積する表土下には西側で130cm、東側で80cmの埋土が行われており、調査区西側では表土下160cmで地山であるローム層に達するが、調査区東側ではローム層はレベルを低下させ、表土下110cmで砂層が確認されたが、湧水が激しく砂層

底面は未確認である。以上から本調査区は、西側の枇杷坂遺跡群・円正坊遺跡群が存在する微高地の東端部にあたり、東側には谷状の低地が存在するものと考えられる。

本調査区からは、遺構・遺物ともに認められなかった。

B地区

本調査区はA地区の北東約100mに位置する。東西3本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。本調査区の層序は、東端部では表土下50cmで遺構確認面である砂層が厚く堆積しており、さらに褐灰色粘質土・黒色土が厚く堆積し湧水が激しい。地表からローム層までは150cmを計測する。調査区西側に至るとローム層はレベルを上げ、褐灰色粘質土・黒色土の堆積はみられなくなり、ローム層上面に砂層の堆積が認められるのみである。

本調査区からは、遺構・遺物ともに認められなかった。

C地区

本調査区はB地区の西側に隣接する。東西2本、南北3本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。本調査区の層序はB地区西側とほぼ同様な状況を示し、砂層の堆積は薄く、直下にローム層が確認された。

本調査区においても遺構は検出されず、遺物は、ロクロ成形による底部回転糸切り未調整の土師器坏・陶器の小片がわずかに出土したのみである。

D地区

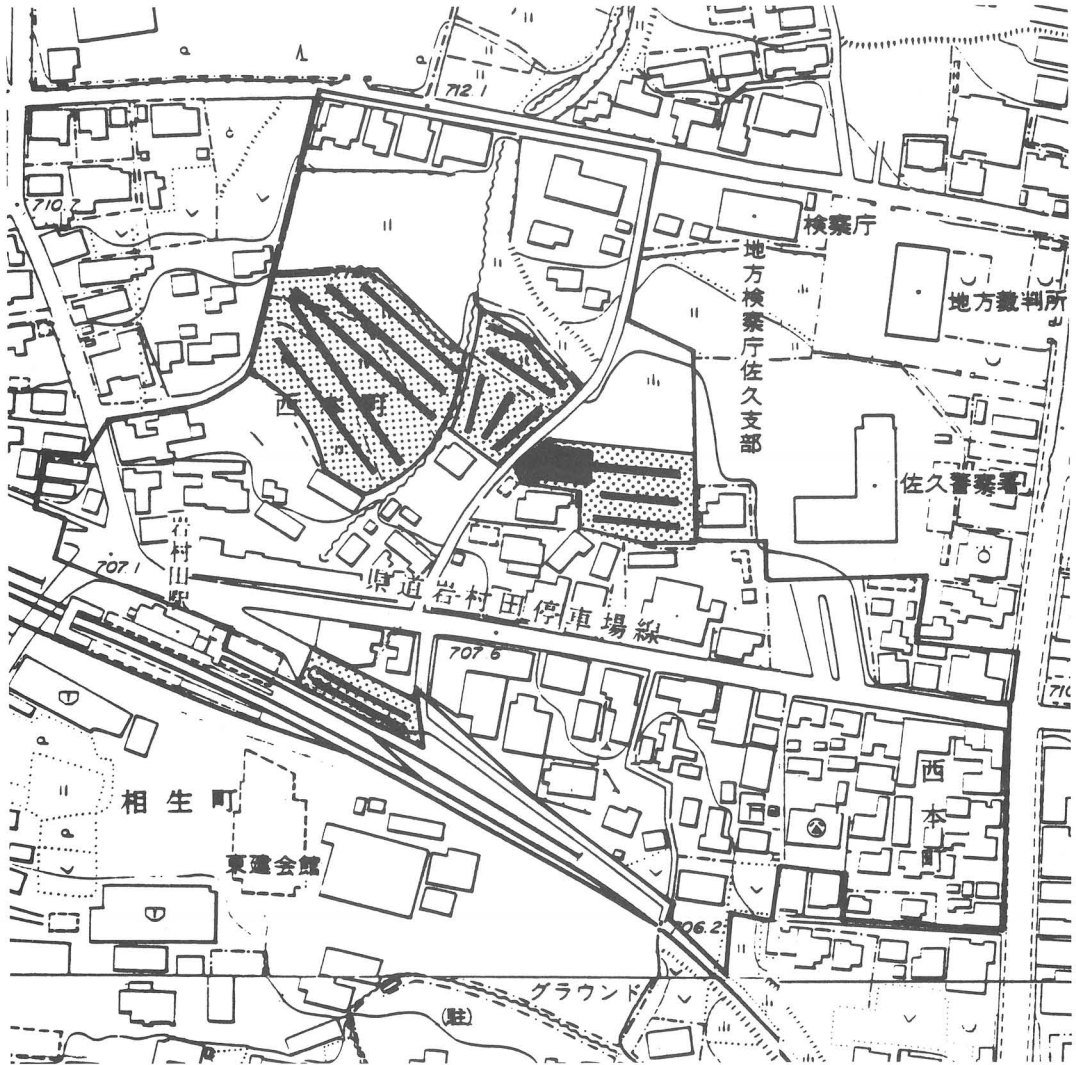
本調査区はC地区の西側に隣接し、今回の調査区では西端にあたる。東西5本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。本調査区の層序は、東側部分においてはC地区と同様に薄く堆積する砂層の直下にローム層が確認された。ローム層は西側に向かってレベルを低下させ、砂層・褐灰色粘質土・黒色土が厚く堆積する。この地区も他と同様に湧水が激しいため、地表下2.5mまで掘り下げを中止した。従って黒色土の底面は未確認である。

本調査区からは、赤色塗彩された弥生土器・土師器甕の小片がわずかに出土したものの、遺構は検出されなかった。

今回調査を行った地域は、北方からのびる田切り地形の末端部にあたり、付近には幾筋かの谷状の低湿地が存在することが確認されている。この低湿地に続く微高地には多くの遺跡が存在している。



岩村田遺跡群 近景（西方から）



岩村田遺跡群 調査全体図 (1 : 2,500)



A地区トレンチ (西方から)



D地区トレンチ (西方から)

試掘調査

14 芋の原遺跡群 2

所在地 佐久市大字横根字伊勢石1173-1他

開発主体者 (株)大地

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成9年7月24日

面積 1300m²

調査担当者 富沢 一明



芋の原遺跡群 位置図 (1:10,000)

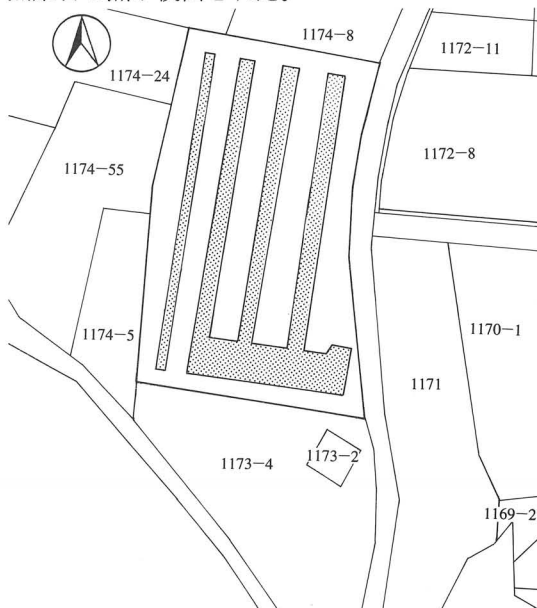
立地と経過

芋の原遺跡群は佐久市の北東横根地籍に所在し、湯川の第一段丘面に存在する。遺跡周辺の標高は738m前後を測り、湯川との高低差は約30mである。遺跡群周辺には、佐久市でも有数の規模を誇る横根古墳群が存在する。また、遺跡群東方のスキー場建設に伴って調査が行われた棚畑遺跡からは縄文時代中期初頭及び古墳時代前期の集落址が調査されている。

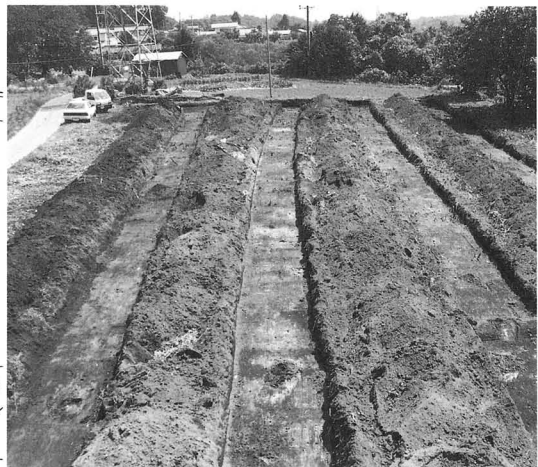
今回、(株)大地により、遺跡群内に宅地造成が計画されたため、試掘調査を行う事となった。

調査の結果

開発対象地に5本のトレンチを設定し調査をおこなったが、遺構は確認されなかった。遺物は黒耀石1点が検出された。



芋の原遺跡群調査全体図(1:1,000)



芋の原遺跡群トレンチ掘削状況(北より)

試掘調査

15 中鳴沢遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田字下福王寺2499他34筆

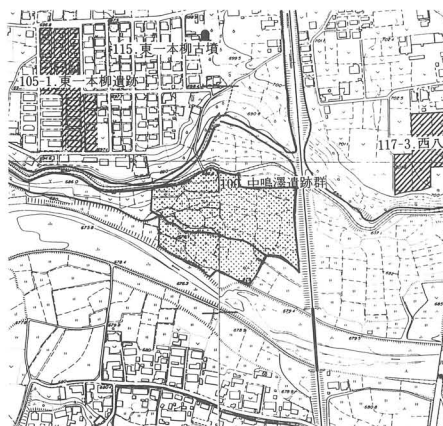
開発主体者 株式会社 モリケン

開発事業名 福王寺団地建設工事

調査期間 平成9年8月1日～8月6日

面積 19,350m²

調査担当者 上原 学



中鳴沢遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

遺跡は佐久市岩村田地籍の南に展開し、調査区は標高680～686m付近の傾斜地に位置する。南には調査区沿いに湯川が東西方向に流れる。また、北側の平坦な台地上は佐久市でも有数の遺構密集地帯で、東一本遺跡、北一本柳遺跡、西一本柳遺跡など多くの遺跡が所在し、弥生から平安時代を中心とした集落が展開している。

今回、株式会社モリケンによる団地建設工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

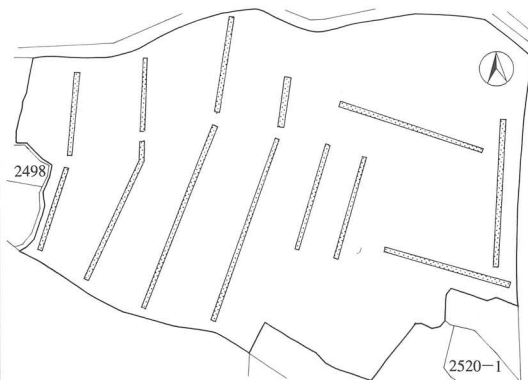
調査の結果

調査区に東西・南北方向のトレンチを14本設定し遺構の確認を行った。その結果、調査区一帯は北方向の台地から地下を通過して湯川に流れ込む水が集中するため全体が湿地となっており、表土下は黒色の泥炭層が厚く堆積していた。

遺構・遺物は、ともに確認できなかった。



中鳴沢遺跡群 調査区全景 (北西から)



中鳴沢遺跡 調査全体図 (1:2,000)

試掘調査

16 志賀神明の木遺跡

所在地 佐久市大字志賀5953
開発主体者 佐久市教育委員会
開発事業名 事務所建設
調査期間 平成9年8月6日
面積 302㎡
調査担当者 上原 学



志賀神明の木遺跡 位置図 (1:10,000)

立地と経過

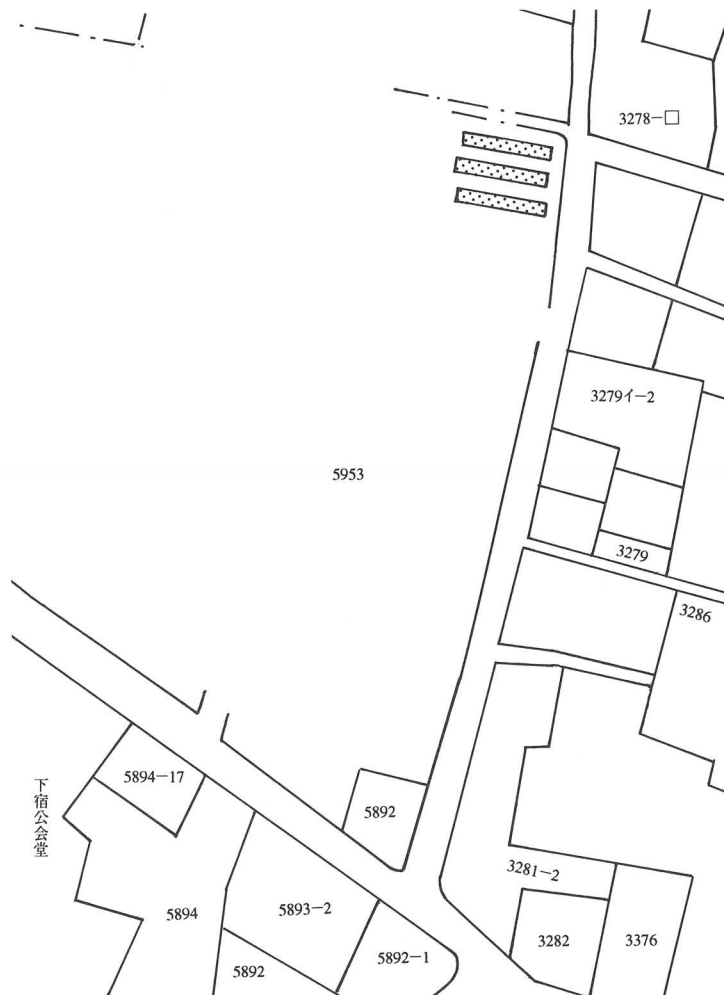
遺跡は佐久市志賀地籍にあり、標高708m付近を測る。本調査区は旧志賀小学校敷地内に位置し、現在は佐久市教育委員会埋蔵文化財課として使用されている。

今回、佐久市教育委員会による事務所建設が行われることとなり遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを3本設定し遺構の確認を行った。

その結果、調査区付近は黒色の泥炭層が厚く堆積しており、遺構の確認は出来なかったが、遺物は摩耗した土師器片4片が出土した。

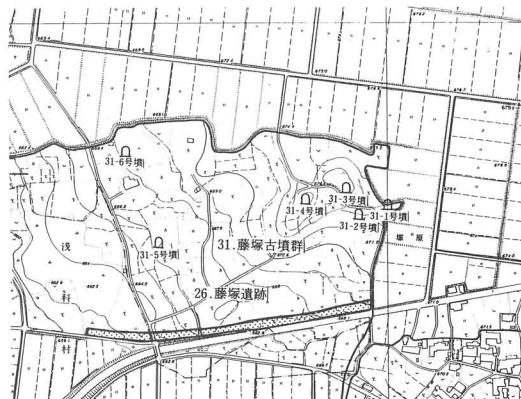


志賀神明の木遺跡 調査全体図

試掘調査

17 藤塚遺跡 3

所在地 佐久市大字塚原字下荒町1540-3他
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 県単道路改良
調査期間 平成9年8月20日～8月22日
面積 4,894㎡
調査担当者 上原 学



藤塚遺跡 位置図 (1:10,000)

立地と経過

遺跡は佐久市塚原地籍の標高662m付近の台地上に位置する。北には藤塚古墳群が所在する。今回、佐久建設事務所による道路改良事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

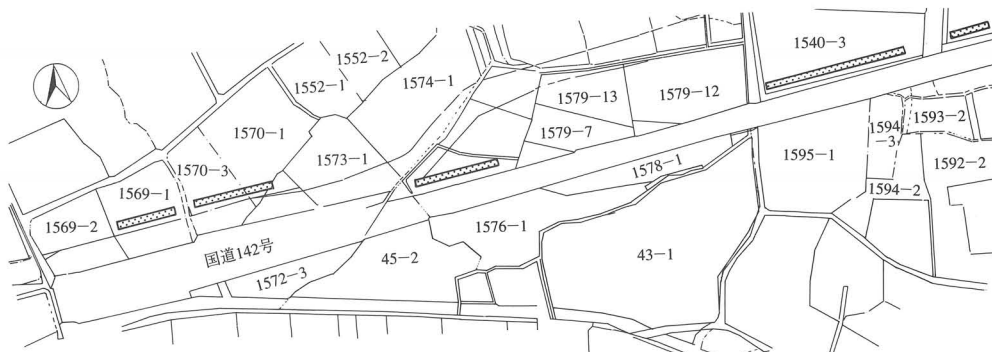
調査区に東西方向のトレンチを5本設定し遺構の確認を行ったが、遺構・遺物ともに認められなかった。



藤塚遺跡 西側調査トレンチ (西から)



藤塚遺跡 東側調査トレンチ (西から)



藤塚遺跡 調査全体図 (1:1,500)

試掘調査

18 西大久保遺跡群 7

所在地 佐久市大字下平尾字中大久保55-3他2筆
開発主体者 依田 一之
開発事業名 アパート建設
調査期間 平成9年9月5日
面積 1,247m²
調査担当者 上原 学



西大久保遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

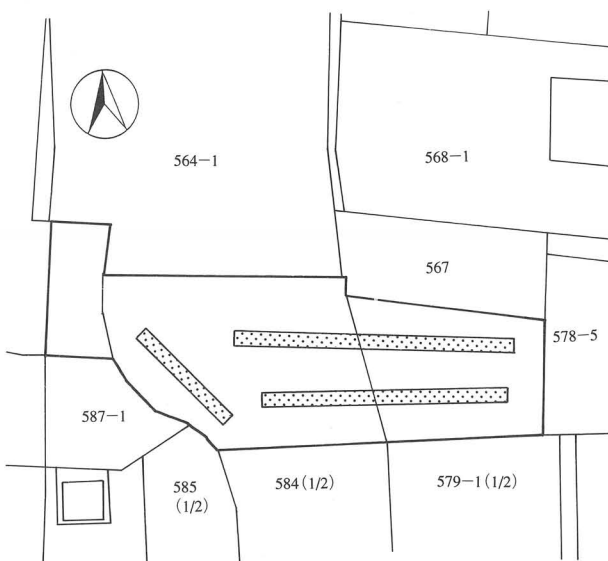
遺跡は佐久市下平尾地籍の標高730m付近の台地上に展開する。

今回、依田一之氏によるアパート建設工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に3本のトレンチを設定し遺構の確認を行った。その結果、調査区は周辺地域に比べ、ローム土上に黒色土が厚く堆積していることから、以前は南北方向の田切り状の地形が存在していたものと考えられた。

遺構・遺物は認められなかった。



西大久保遺跡群 調査全体図 (1:1,000)



西大久保遺跡群 調査トレンチ (西から)

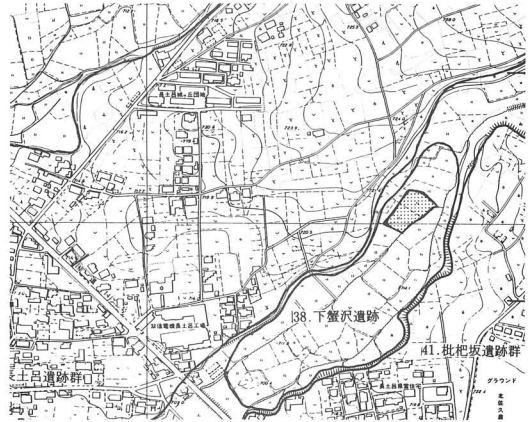


西大久保遺跡群 調査トレンチ (西から)

試掘調査

19 下蟹沢遺跡 2

所在地 佐久市長土呂字中蟹沢247-1
開発主体者 保坂 由昭
開発事業名 保坂リサイクルセンター新築工事
調査期間 平成9年10月8日
面積 1,815㎡
調査担当者 上原 学



下蟹沢遺跡 位置図 (1:10,000)

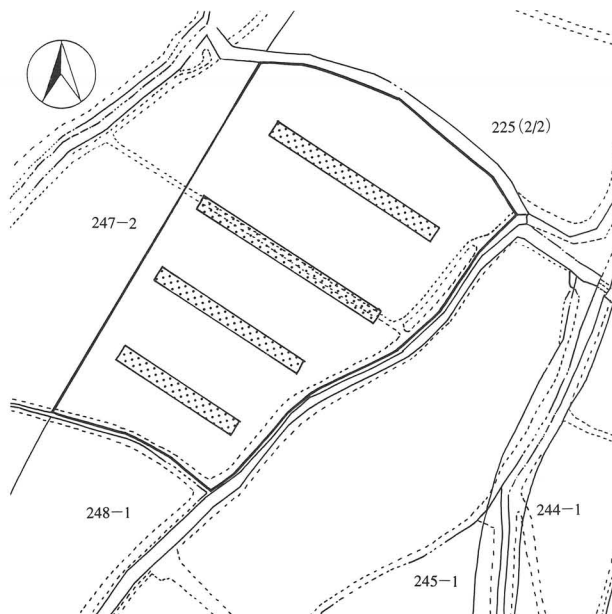
立地と経過

遺跡は佐久市長土呂地籍に所在し、佐久地域特有の浅間の麓からおよそ南北方向に発達した田切りと呼ばれる標高713m付近の沢上に位置する。

今回、保坂由昭氏による保坂リサイクルセンター新築工事建設予定に先立ち、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区にトレンチを4本設定し遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに確認できなかった。



下蟹沢遺跡 調査全体図 (1:1,000)



下蟹沢遺跡 調査区遠景 (南から)



下蟹沢遺跡 調査トレンチ (東から)

試掘調査

20 枇杷坂遺跡群13

所在地 佐久市大字岩村田字枇杷坂991番他

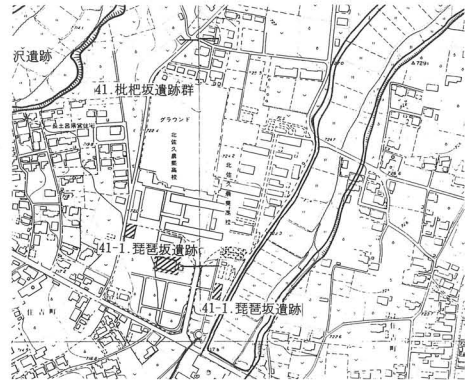
開発主体者 北佐久農業高等学校同窓会

開発事業名 同窓会館建設

調査期間 平成9年10月16日

面積 492㎡

調査担当者 富沢 一明



枇杷坂遺跡群 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

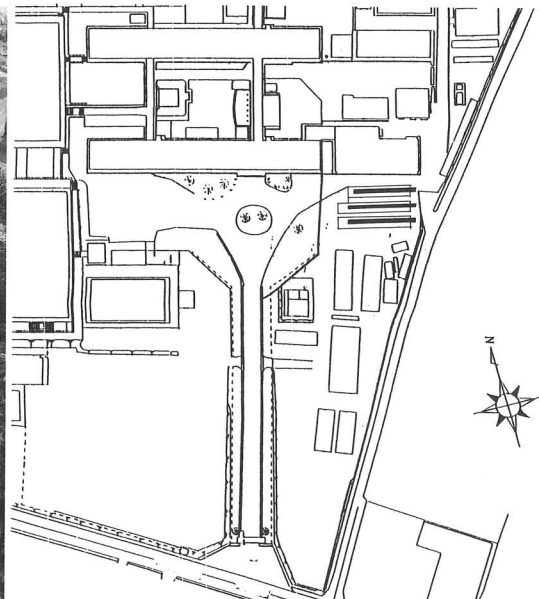
枇杷坂遺跡群は佐久市大字岩村田に所在し、標高は調査地点で725mを測る。枇杷坂遺跡群内では過去、琵琶坂遺跡・上直路遺跡・円正坊遺跡などが調査されている。特に上直路遺跡からは弥生時代後期前半の焼失住居跡の東壁中央から屋内墓塚が発見され、高坏1個体、甕3個体とともに15本の銅釦が発見された。銅釦は骨と共に出土しており、腕に装着したまま埋葬された可能性が高い。今回、北佐久農業高等学校同窓会により、北佐久農業高等学校内に同窓会館建設事業が計画され、遺跡内であるため試掘調査を行い、遺構の有無を確認することとなった。

調査の結果

開発対象地内に3本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、西側にむけて落ち込む傾斜地形に黑色土の堆積を確認したが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



トレンチ掘削状況 (西より)



枇杷坂遺跡群調査全体図 (1:2,000)

試掘調査

21 久禰添遺跡 I

所在地 佐久市大字太田部字西屋敷221-1他

原因者 佐久建設事務所

開発事業 緊急地方道路整備事業
(県道川上佐久線)

調査期間 1997年10月21～25日

調査対象面積 1,904㎡

調査担当者 林 幸彦



久禰添遺跡 I 位置図(1:10,000)

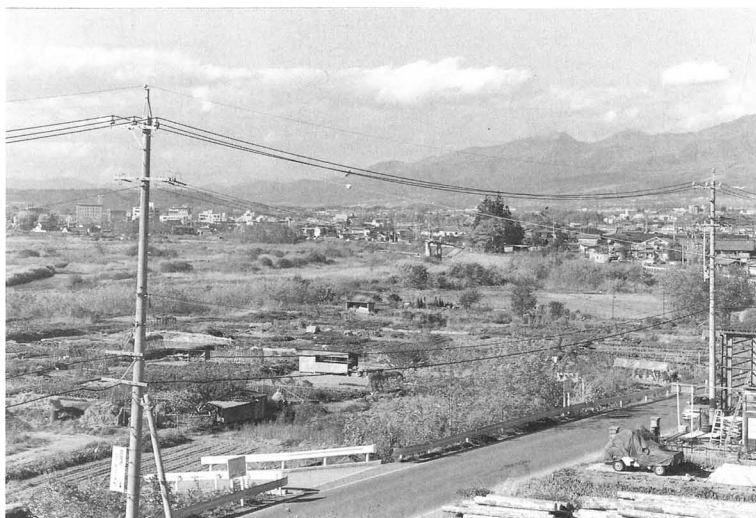
立地と経過

久禰添遺跡は、千曲川の右岸に沿って南北に長く展開し離れ山北裾に接している。対象地は、JR小海線太田部駅西方100mの地点にあり、標高685mをはかる。弥生時代～平安時代の複合遺跡である。佐久建設事務所の県道川上・佐久線整備事業計画地一帯は、千曲川との比高10m弱であり、氾濫による遺構への影響が懸念されたので、事前に試掘調査を実施した。

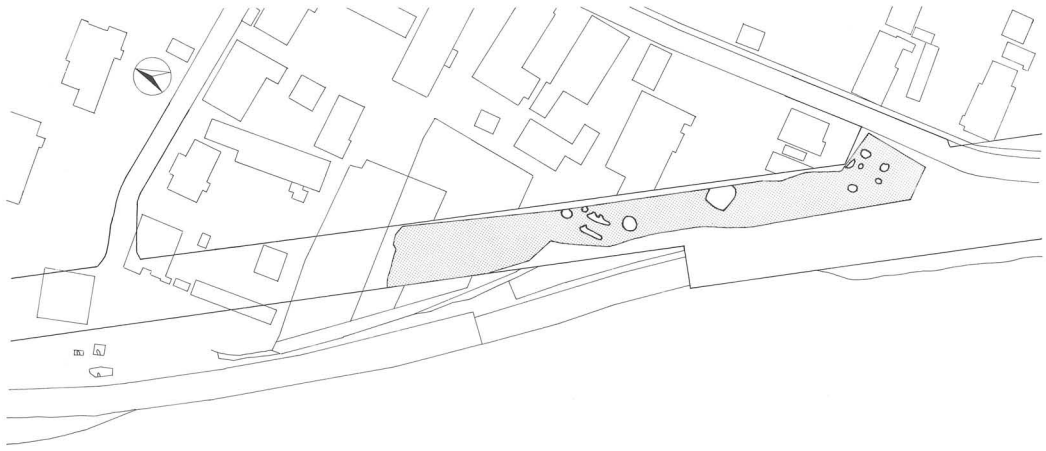
調査の結果

南半が家屋移動後の宅地、北半が畑地である対象地の表土を剥ぎ遺構の確認を行った。表土下0.3～0.5mで河床礫・砂層・シルト質土の地山となった。対象地ほぼ中央から赤色塗彩された弥生時代の土器片が少量出土し、北端からは中世とみられる陶磁器片が検出された。遺構は対象地南側より土抗が数基検出された。中央部には、方形に礫が集中して堆積しており竪穴住居址かと思われる。

保護協議の結果、引き続き記録保存のための発掘調査を実施することとなった。



久禰添遺跡 I 調査地点遠景 (南方から)



久瀬添遺跡Ⅰ調査全体図（1:1,500）



久瀬添遺跡Ⅰ調査地点近景（南方から）

試掘調査

22 根々井大塚古墳 2

所在地 佐久市大字根々井字大塚越1179-8番他
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改良工事
調査期間 平成9年10月27日～11月27日
面積 224m²
調査担当者 富沢 一明



根々井大塚古墳 位置図 (1:10,000)

立地と経過

根々井大塚古墳は佐久市大字根々井に所在し、湯川の段丘縁に立地する「流れ山」である。周辺部は圃場整備の終了した水田が広がり、水田面よりの眺望は大型の円墳を彷彿とさせる。

今回、当地点の県道拡幅に伴い、佐久建設事務所によりこの「流れ山」東斜面を削平する計画がなされた。しかし、当地籍は従来よりその形状から古墳としての可能性が指摘されており『遺跡詳細分布調査書』には、「根々井大塚古墳」として登録されていたが、過去の調査・伝承等が皆無であったため詳細は不明であった。

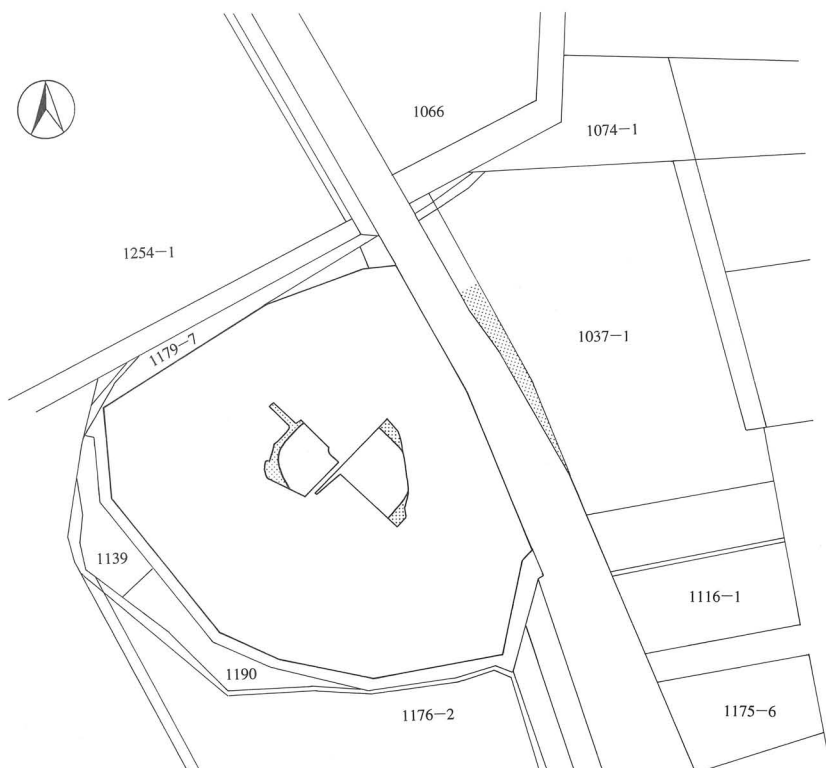
そのため、教育委員会は流れ山本体の地籍地権者にも承諾を得て、古墳の規模・性格等の把握を目的とする試掘調査を実施する事とし、道路東側部分は立会い調査をする事となった。

調査の結果

調査の方法は、地籍全体の地形測量を行い現状での墳丘確認に努めた。次に墳頂部より十文字のベルトを設定し地表下の墳丘表面の状態を検出し、尚かつ盛土確認の為のサブトレンチを設定して掘り下げた。道路部分は2月23日立会い調査を行い、遺構は検出されなかった。

その結果、山南側は後世の掘削により旧来の地形を失っており、また、流れ山の土壌特質の為墳端部の確認が非常に困難であったが、頂上部に方形と考えられる「古墳」が確認された。この「古墳」の規模は長軸16m・短軸14m・高さ2mを測る。また、墳頂部には土坑状の主体部が確認された。出土遺物はいずれも赤彩された小型器台2・小型高坏1・高坏1・壺1、また、盛土確認時のトレンチよりガラス玉2個・ガラス小玉8個が検出されている。

これらの事から根々井大塚古墳は、形状やその出土遺物より、弥生時代末から古墳時代前期に属する墳丘墓或いは古墳である事が確認され、本市に所在する「瀧の峯古墳群」と同様に性格や築造時期など非常に重要な遺跡であることが判明した。なお、工事については、その方法などについて建設事務所側と協議中である。



根々井大塚古墳調査全体図 (1:1,000)



トレンチ掘削状況 (南東より)

試掘調査

23 跡坂遺跡群 跡坂遺跡

所在地 佐久市大字横根859他（字跡坂・島原
・芋）大字小田井760-6他（字下金井
・仲金井）

原因者 佐久市耕地課

開発事業 団体営農道整備事業 島原地区

調査期間 1997年10月28～11月7日

調査対象面積 4,320㎡

調査担当者 林 幸彦

立地と経過

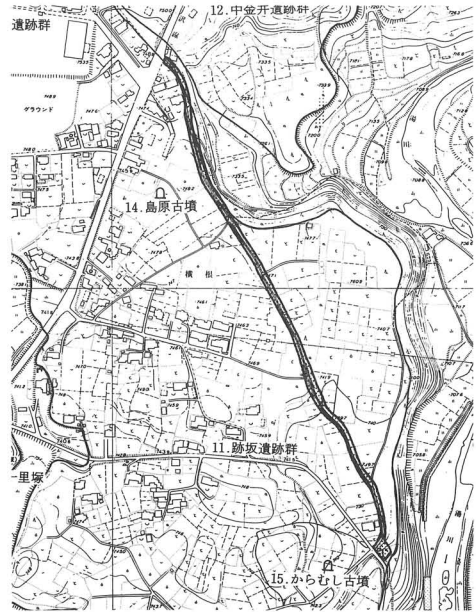
跡坂遺跡群は佐久市の最北端に位置し、湯川の右岸に沿った標高739～747mを測る台地上にある。県道軽井沢・佐久線より湯川の断崖に沿った農道とその拡幅部分が対象地である。直下を長野新幹線が通過する。調査対象地の北端50m西方に島原古墳、南端西南方50mにはからむし古墳が存在する。遺跡群全体からは、弥生時代～平安時代の遺物が表面採集されている。今回、佐久市耕地課が農道の整備事業を計画したので、事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

全長732mの対象地のほぼ全体に遺構確認のためのトレンチを設定し、重機により表土を削平した。広大な台地上を貫くトレンチであったが、対象地南端において平安時代の竪穴住居址とみられる落ち込みみを検出したにとどまる。保護協議の結果引き記録保存のため発掘調査を実施することとなった。



跡坂遺跡群跡坂遺跡調査地点遠景（北西方から）

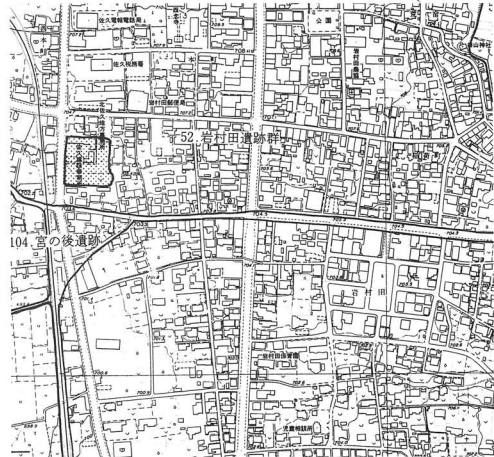


跡坂遺跡群跡坂遺跡位置図（1：10,000）

試掘調査

24 岩村田遺跡群 柳堂遺跡

所在地 佐久市大字岩村田字柳堂1931-7他
原因者 佐久市企画調整課
開発事業 こども未来館建設事業
調査期間 1997年10月28日～11月10日
調査対象面積 5,200m²
調査担当者 林 幸彦



岩村田遺跡群柳堂遺跡位置図（1：10,000）

立地と経過

岩村田遺跡群は岩村田市街地北半から仙祿湖の東方まで広がる大遺跡群で、湯川を臨む東端部には、県指定史跡である大井城跡（石並城跡・王城跡・黒岩城跡）が存在する。また、対象地の北方には、岩村田農協の宅地造成事業に関わり発掘調査された内西浦遺跡Ⅰが隣接している。内西浦遺跡Ⅰからは、古墳時代の竪穴住居址、中世の竪穴状遺構・土抗・掘建柱建物址・井戸址などが検出されている。弥生時代～平安時代、中世・近世の複合遺跡である。

今回、佐久市企画調整課が子ども未来館建設を計画したため、事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

対象地の北側の一部は日本鉄建公団の事務所となっており、今回範囲外である。対象地内に南北7本のトレンチを設定し重機により表土を削平した。一部に盛り土がみられた。表土下30～50cmで近世・中世の遺構確認面がみられ、さらにその下部には弥生～古墳時代の遺物包含層が検出された。保護協議の結果、次年度に記録保存調査を実施することになった。



岩村田遺跡群柳堂遺跡調査地点近景（北西方から）



岩村田遺跡群柳堂遺跡調査地点近景（南方から）

岩村田遺跡群柳堂遺跡調査全体図（1：1,000）

試掘調査

25 岩村田遺跡群

菅田遺跡Ⅴ

所在地 佐久市大字岩村田字菅田415・414-1

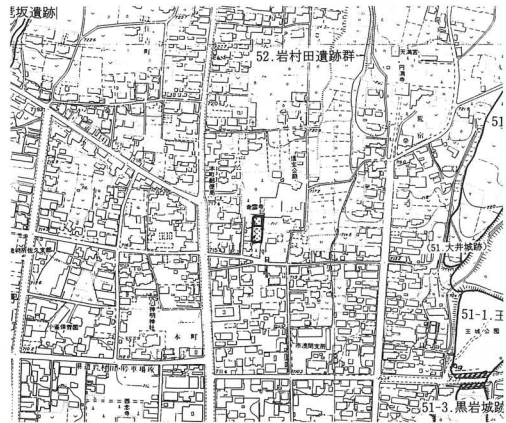
開発主体者 龍雲時住職 宮下 孝海

開発事業名 龍雲寺壇信徒会館増築

調査期間 平成10年11月11日

面積 615m²

調査担当者 上原 学



岩村田遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

遺跡は佐久市岩村田地籍の標高705m付近の台地上に展開し、調査区は龍雲寺敷地内にある。

今回、龍雲寺による壇信徒会館増築が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

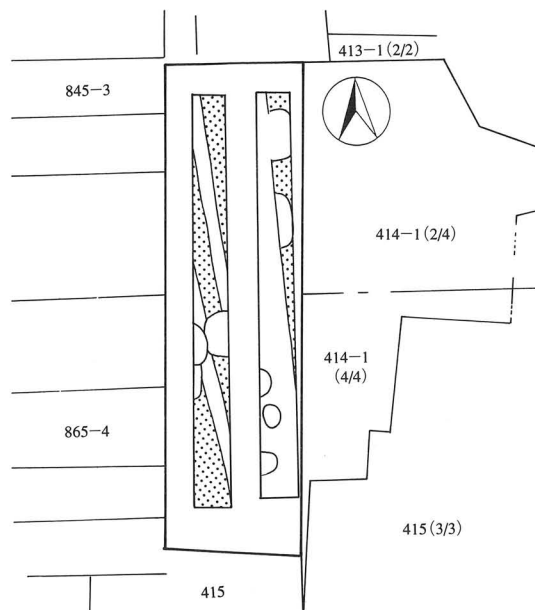
調査の結果

調査区に南北方向のトレンチを2本設定し遺構の確認を行った。その結果、中世と思われる南北方向の溝跡3本、土坑7基、住居址と思われるもの1軒を確認した。

遺物は溝跡上面から、かわらけ片を出土した。



岩村田遺跡群 調査トレンチ (南から)

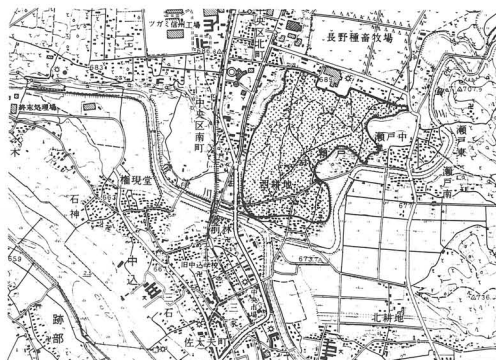


岩村田遺跡群 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

26 深堀遺跡群他 3

所在地	佐久市大字瀬戸
開発主体者	佐久地方事務所
開発事業名	瀬戸原農村活性化住環境整備事業
調査期間	平成9年11月18日～12月25日
面積	15,000㎡
調査担当者	三石 宗一



深堀遺跡群他位置図（1：50,000）

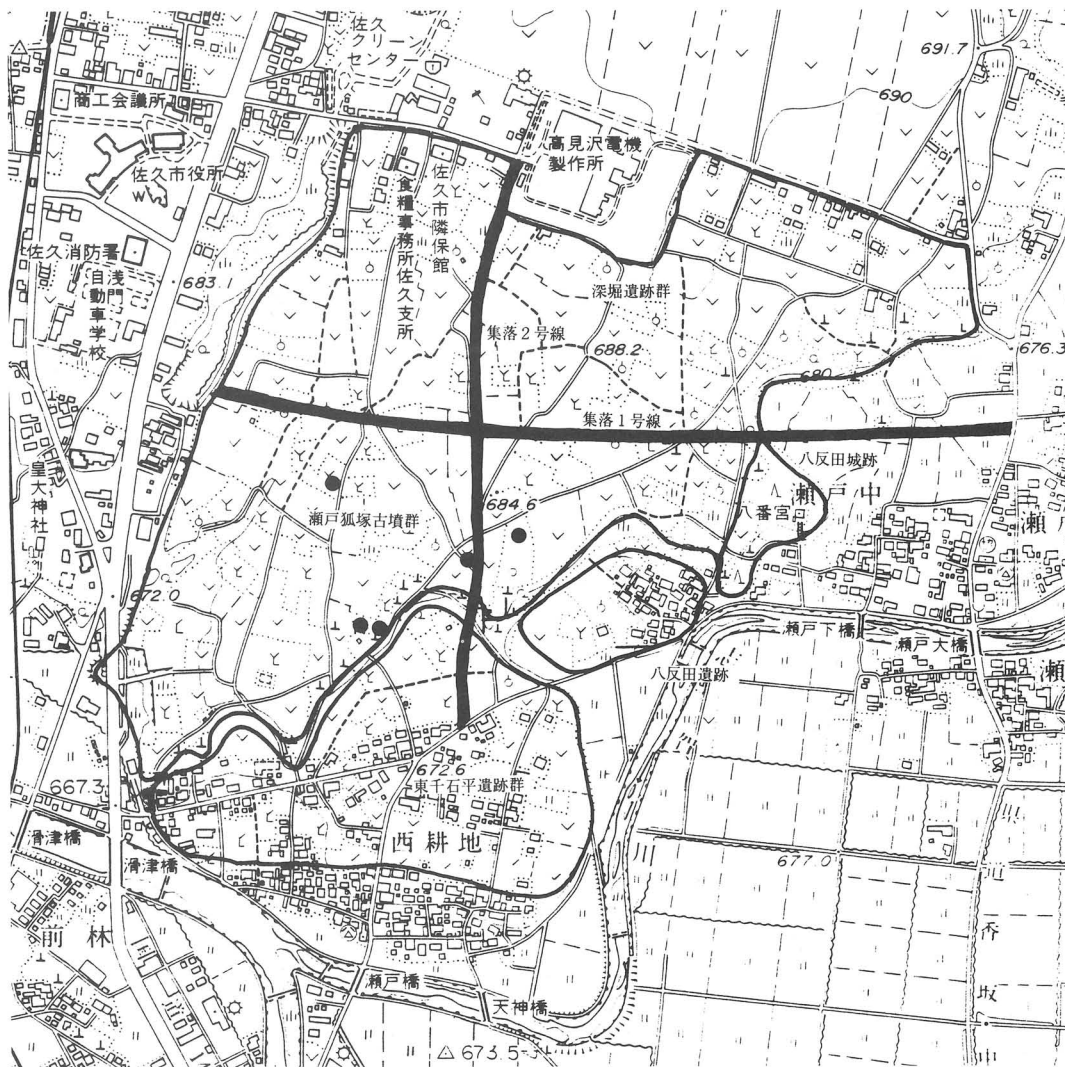
立地と経過

深堀遺跡群は佐久市大字瀬戸に所在し、東方は志賀川、西方は田切り地形に挟まれた台地上に展開する大遺跡群である。標高は670～690mを測る。本遺跡群内では昭和40年度に国道141号バイパス工事に伴い深堀遺跡の発掘調査が行われ、弥生時代中期の竪穴住居址2棟が調査されている。また、台地の南側には瀬戸狐塚古墳群、東端部には八反田城跡が存在する。東千石平遺跡群は深堀遺跡群の南に隣接して存在し、標高670m内外を測る。

今回、両遺跡群内で瀬戸原農村活性化住環境整備事業が計画されたため、遺跡群内を東西に横断する集落1号線と南北に縦断する集落2号線内において、遺構の分布状況を把握するため試掘調査を行った。

調査の結果

今回の調査は、瀬戸原農村活性化住環境整備事業に伴い、集落1号線内に37本（深堀遺跡群内29本・東側水田部分8本）、集落2号線内に15本（深堀遺跡群内12本・東千石平遺跡群内3本）の試掘トレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。調査の結果、集落1号線内においては東側の水田部分では遺構は確認されなかったものの、台地上東半部から竪穴住居址10棟の他土坑・溝状遺構・ピットが確認され、集落2号線内では東千石平遺跡群内で竪穴住居址3棟の他土坑・ピットが確認された。以上から、深堀遺跡群が存在する台地上の東半部と東千石平遺跡群内には竪穴住居址等の遺構が多数存在することが確認されたが、今回の試掘調査は極く限られた範囲での調査であるため、今回の試掘調査で遺構が確認されなかった台地上西半部においても遺構の存在する可能性は高いと考えられる。また、深堀遺跡群の南側縁辺部には八反田城跡・瀬戸狐塚古墳群が存在しているが、この他にも古墳・窯址等の存在も予想される。



深堀遺跡群他調査区設定図 (1 : 10,000)



試掘トレンチ

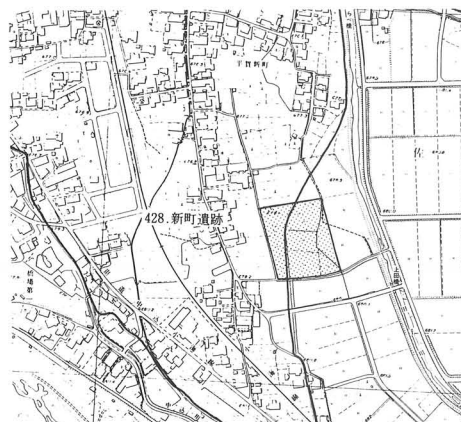


試掘トレンチ

試掘調査

27 新町遺跡 4

所在地 佐久市大字平賀字新町1820-1外
開発主体者 平賀新町土地区画整理組合
開発事業名 土地区画整理
調査期間 平成9年11月21～25日
面積 21,000㎡
調査担当者 須藤 隆司



新町遺跡位置図（1：10,000）

立地と経過

新町遺跡は、中込市街地の南側、佐久市大字平賀に所在し、千曲川と田子川とに挟まれた微高地上に立地している。道路改良工事に伴う立ち会い調査が実施されており、土師器・須恵器の小片が検出されている。

今回、平賀新町土地区画整理組合が本遺跡群内に土地区画事業を計画したため、事前に試掘調査を実施した。

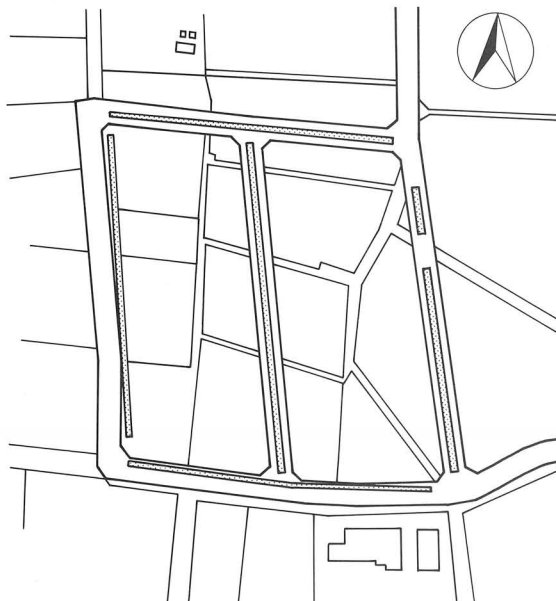


新町遺跡調査地点（北方から）

調査の結果

右図のように道路建設予定地及びその隣接地にトレンチ5本を設定し、遺構・遺物の確認調査を行った。

結果は、今回の調査地点が遺跡の広がりを示す台地上でなく低地であったこと、現水田土壌以下は砂層・砂礫層の厚い堆積であったことから、遺構・遺物ともに検出されず、今回の調査地点は遺跡の範囲外であることが確認され、調査を終了した。



新町遺跡調査全体図（1：2,000）

試掘調査

28 石附遺跡Ⅳ

所在地 佐久市大字根岸字萩原4051-1番地

開発主体者 佐久市土地開発公社

開発事業名 岸野工場団地造成事業

調査期間 平成9年11月26日～12月1日

面積 566㎡

調査担当者 富沢 一明



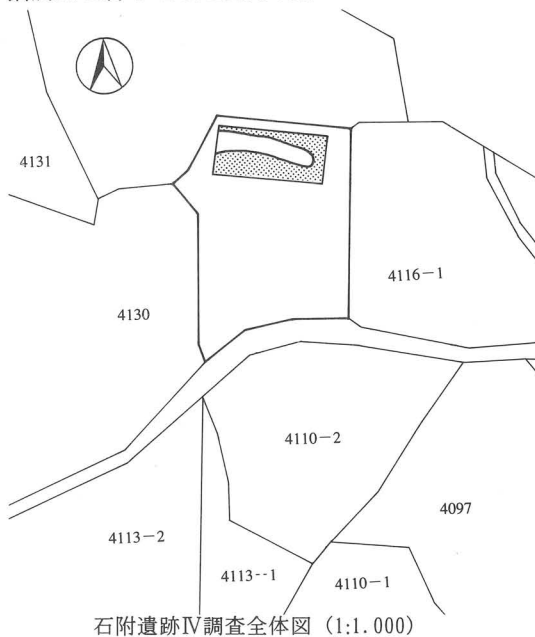
石附遺跡 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

石附遺跡は佐久市の西方、浅科村と境界を接する石突川の兩岸に広がる遺跡である。遺跡内には石附窯址群が存在し、現在までに須恵器窯跡2基、木炭窯跡5基が調査され、操業時期は7世紀後半と考えられている。今回、佐久市土地開発公社によって遺跡内に工場団地造成が計画され、教育委員会は試掘調査を行い、遺構の有無を確認することとなった。

調査の結果

開発対象地は窯址群の存在が予想された為、過去の調査経緯からトレンチでの検出は困難が伴うと言うことで、面による表土剥ぎを行い確認することとなった。その結果、対象地の北側より溝状遺構が確認され、須恵器甕片が出土した。調査の結果、保護協議がなされ記録保存による発掘調査を行うこととなった。



石附遺跡Ⅳ調査全体図 (1:1,000)

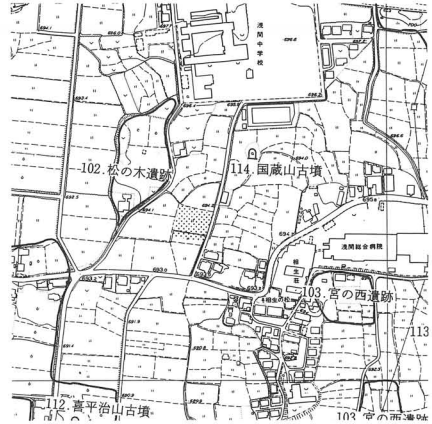


トレンチ掘削状況図

試掘調査

29 松の木遺跡 (隣接)

所在地 佐久市大字岩村田字下塚本1354-4
原因者 大井保弾
開発事業名 貸店舗建設
調査期間 平成9年12月2日
面積 1.114m²
調査担当者 小林真寿



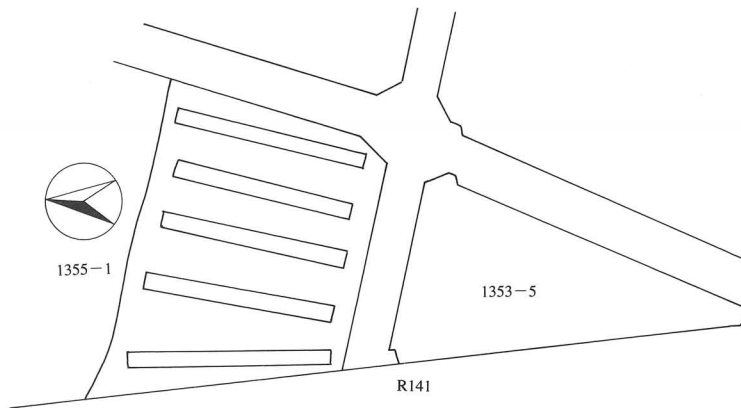
松の木遺跡(隣接)位置図(1:10,000)

立地と経過

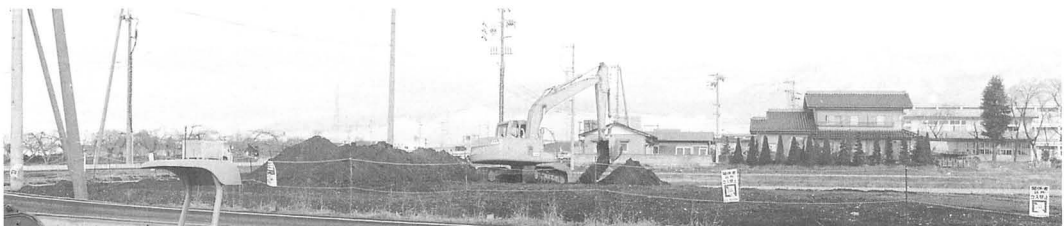
調査対象地は、国道141号線バイパス建設工事に伴う埋蔵文化財調査において、弥生～古墳時代の住居址等の遺構が、西に隣接する松の木遺跡において検出されている事、また開発対象地の100m北北東には国蔵山古墳が存在する事から試掘調査を実施した。

調査の結果

対象地は低湿地で遺構・遺物ともに存在しなかった。



松の木遺跡(隣接)調査全体図(1:10,000)



松の木遺跡調査風景

試掘調査

30 中原遺跡群

梨の木遺跡Ⅳ

所在地 佐久市大字中込字梨の木 3768-1

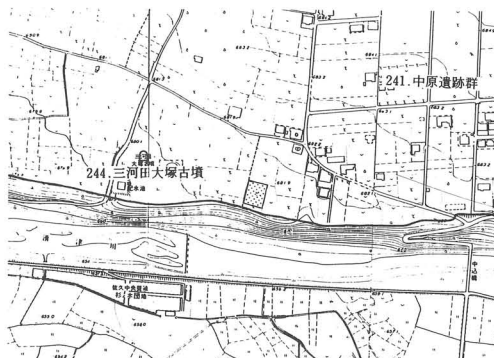
開発主体者 有限会社 サンエイ開発

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成9年12月3・5日

面積 744m²

調査担当者 三石 宗一



中原遺跡群梨の木遺跡Ⅳ位置図（1：10,000）

立地と経過

中原遺跡群は佐久市中込に所在し、千曲川の支流滑津川右岸の切り立った段丘上に立地し、滑津川河床からの比高差は約30mを測る。遺跡群内南西端には佐久地方最大の横穴式石室を有する三河田大塚古墳が南側に開口して存在し、また、昭和58・59年に行われた佐久市遺跡詳細分布調査では縄文時代から中世にかけての遺物が採集されている。今回の調査区の北側に隣接して昭和62・63年に梨の木遺跡Ⅰ・Ⅱの発掘調査が行われ、弥生時代中期と考えられる土坑、中近世の竪穴遺構・土坑・溝状遺構・柱穴址等が検出されている。

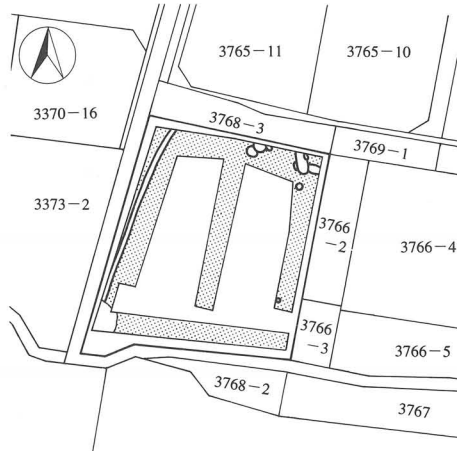
今回、有限会社サンエイ開発により宅地造成事業が行われることになり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。



調査の結果

開発予定地内に東西2本、南北3本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。調査の結果、梨の木遺跡Ⅰ第2号溝状遺構の続きと思われる溝状遺構1条の他土坑11基、柱穴址が検出され、中近世を中心とする遺構の存在が予想された。試掘調査終了後保護協議を行い、平成9年度に発掘調査を行うこととなった。

遺構検出状況（西方から）



中原遺跡群梨の木遺跡Ⅳ調査全体図（1：1,000）

試掘調査

31 市道遺跡Ⅱ

所在地 佐久市大字三塚字市道 126-1他
開発主体者 ルートイン佐久株式会社
開発事業名 (仮称)ホテルルートイン佐久建設
調査期間 平成9年12月11日～12月12日
面積 2230㎡
調査担当者 富沢 一明



市道遺跡 位置図 (1 : 10,000)

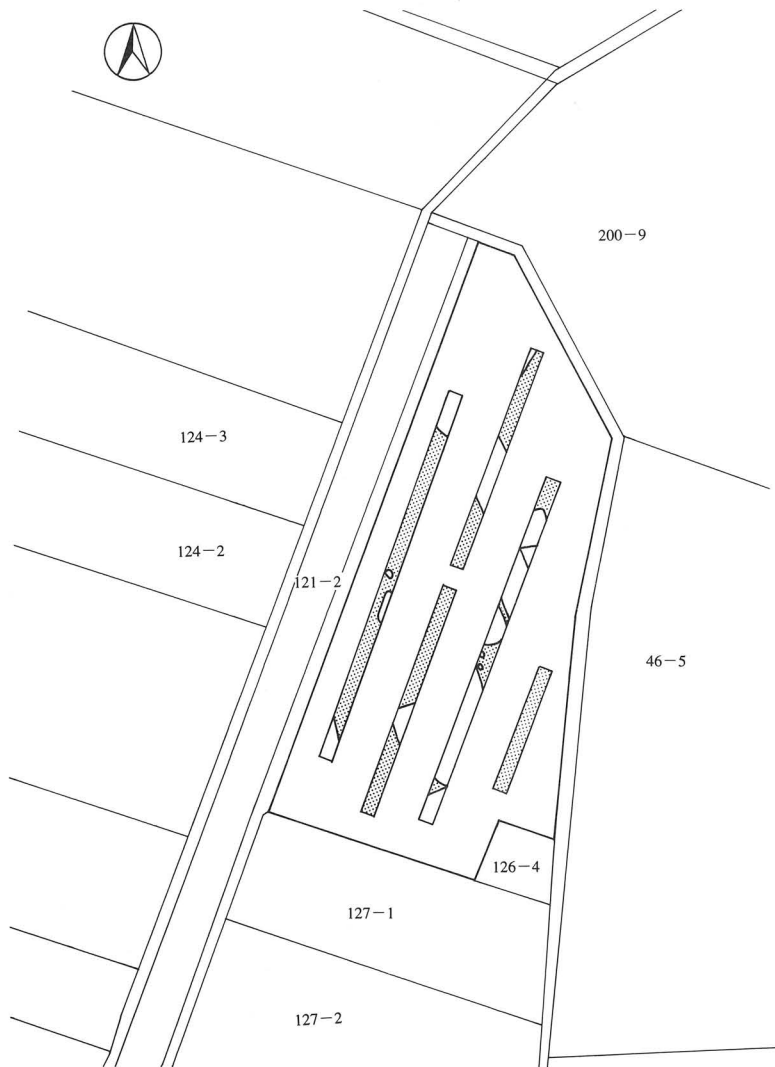
立地と経過

市道遺跡は佐久市の西方、通称「野沢平」の中央部に位置する。遺跡付近の標高は668m内外を測り、周辺の水田面よりも0.6m程高く、沖積微高地的な様相を示す。周辺の遺跡としては、昭和40～50年代に発掘調査された市道遺跡、三塚町田遺跡、跡部町田遺跡などがあり、何れの遺跡も古墳時代中期から平安時代の集落址が確認されている。

今回、遺跡内にルートイン佐久株式会社によりホテル建設が計画された。よって遺構の有無を確認の為、試掘調査を行うこととなった。



市道遺跡トレンチ掘削状況 (南より)



市道遺跡調査全体図 (1 : 1.000)

調査の結果

開発対象地に合計5本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、古墳時代後期から平安時代に及ぶと考えられる竪穴住居址6軒、土坑3基、溝状遺構2本が確認された。試掘調査終了後に保護協議が行われ、建物部分及び浄化槽部分については遺構に影響がおよぶ為、記録保存を行う事とし、駐車場部分については盛り土による埋土保存とすることになった。

試掘調査

32 前田遺跡群 3

所在地 佐久市大字塚原字前田1203-3他

開発主体者 佐久市（新幹線高速道課）

開発事業名 市道8-112号線道路改良工事

調査期間 平成10年2月13日～2月16日

面積 2850㎡

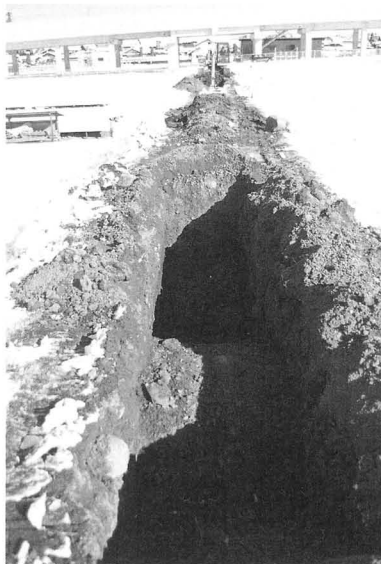
調査担当者 富沢 一明

立地と経過

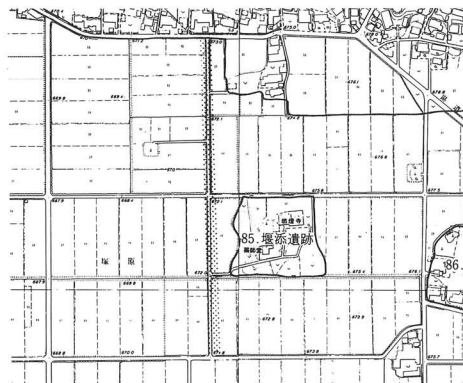
前田遺跡群は佐久市大字塚原に所在し、標高665～685mを測る。当遺跡群の北方には姫子石古墳群、東方には宮の塚古墳が存在する。平成8年度には市道12-1号線改良工事に伴い、姫子石遺跡の発掘調査が行われ、中世から近世と考えられる溝状遺構9本、竪穴状遺構1基、土坑25基等が調査されている。今回、佐久市新幹線高速道課により、市道8-112号線道路改良事業として道路の拡幅が計画されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

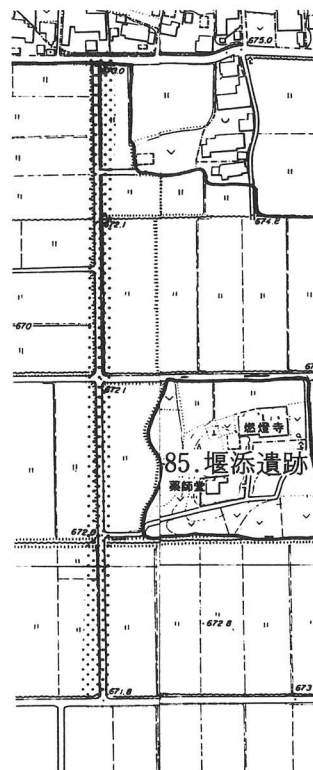
道路拡幅部分に幅1.4mのトレンチを設定し試掘調査を行った。その結果、圃場整備が終了した地点であるが、旧来の地形が残っている部分として、黒色土の堆積する低地が2カ所確認された。この黒色土中より摩耗が進んだ弥生土器片が数点検出されたが、遺構は確認されなかった。



トレンチ掘削状況（南より）



前田遺跡群 位置図（1：10,000）



前田遺跡群調査全体図（1：5,000）

試掘調査

33 戸坂遺跡群 供養塚遺跡

所在地 佐久市大字新子田字供養塚897-1・877-1

開発主体者 佐久市

開発事業名 佐久市児童館建設事業

調査期間 平成10年2月19日～2月20日

面積 1,798㎡

調査担当者 上原 学



戸坂遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

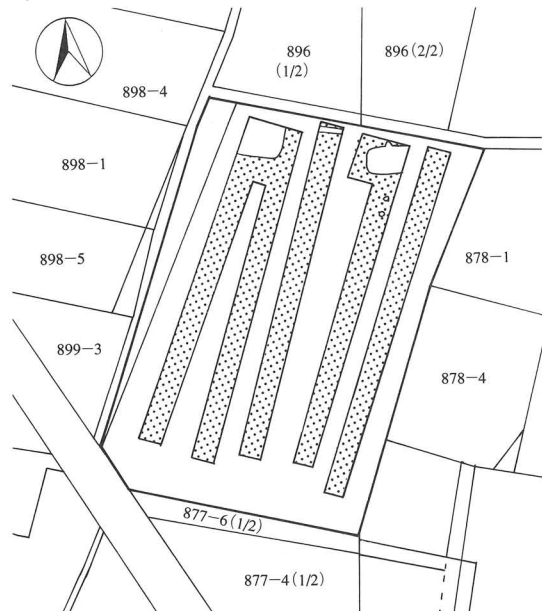
遺跡は佐久市新子田地籍の標高705m付近の台地上に展開し、調査区は東保育園の南に位置する。

今回、佐久市による東児童館建設事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチを5本設定し遺構の確認を行った。その結果、調査区北端から古代の住居跡2軒、溝1本、掘立柱建物址の柱跡と思われるピットを確認した。

遺物は、住居址上面から土師器片が数点出土した。



戸坂遺跡群 調査全体図 (1:1,000)



戸坂遺跡群 調査トレンチ (南から)



戸坂遺跡群 住居址検出状況 (南西から)

試掘調査

34 白拍子遺跡群 4

所在地 佐久市大字取手町字白拍子301-1番他

開発主体者 佐久市（都市計画課）

開発事業名 公園造成

調査期間 平成10年2月26日～2月27日

面積 1506㎡

調査担当者 富沢 一明



白拍子遺跡群 位置図（1：10,000）

立地と経過

白拍子遺跡群は佐久市の南方取手町に所在し、遺跡周辺の標高は686mを測る。この地域は千曲川と片貝川によって形成された微高地が帯状に形成されており、当遺跡群も周辺の水田面よりやや高く、微高地上に展開する遺跡である。

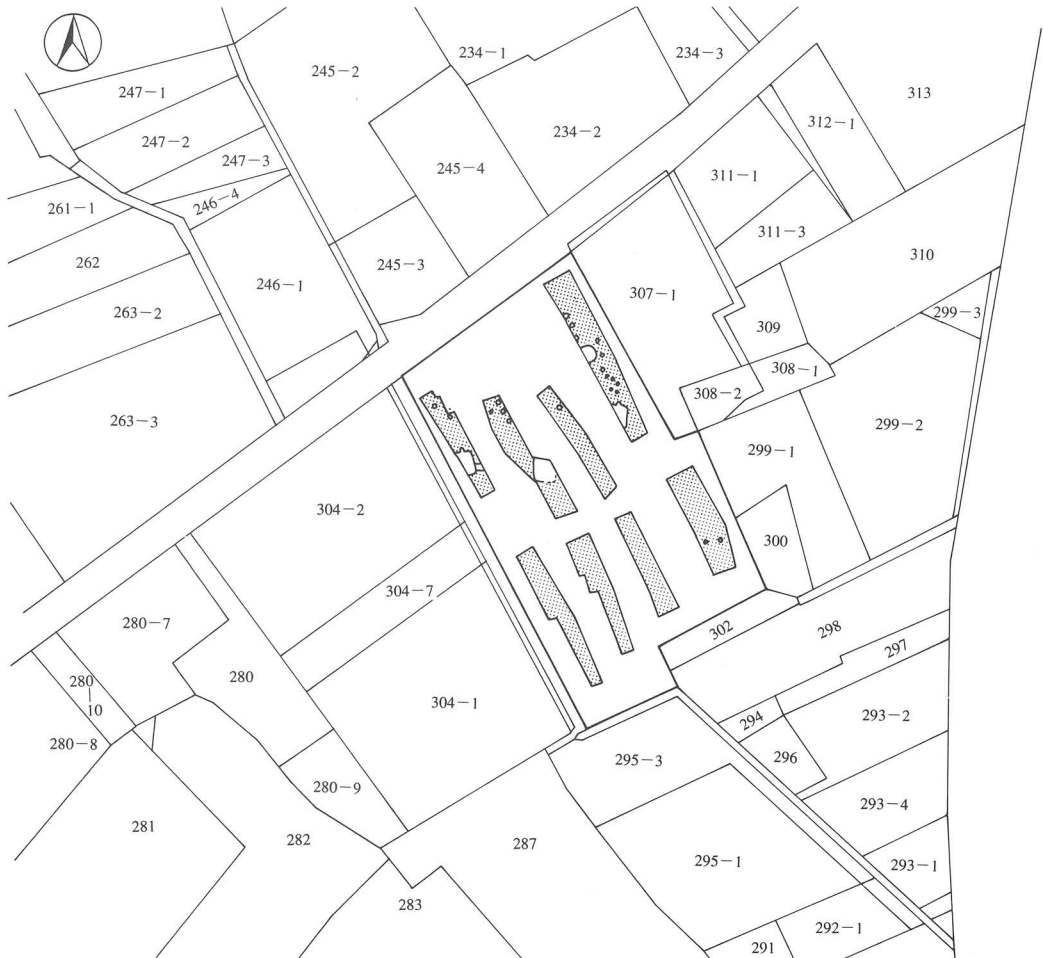
今回、佐久市都市計画課によって遺跡群内に公園造成が計画され、教育委員会は試掘調査を行い、遺構の有無を確認することとなった。

調査の結果

開発対象地内に8本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、対象地は過去に何度か建物が存在し、その取り壊しの為に地区の中央部分は遺構確認面まで削平されていた。遺構が確認されたのは道路側と南側で、特に道路側は遺構が密集するようである。検出された遺構は平安時代の竪穴住居址3軒、掘立柱建物址3棟、溝状遺構1本、土坑等である。遺構確認面までは、現地表より60cmの深さであった。調査の結果、保護協議がなされ建物部分の移動と盛土による遺跡保存が図られた。



白拍子遺跡群トレンチ掘削状況（北より）



白拍子遺跡群調査全体図 (1:1,000)



白拍子遺跡群トレンチ掘削状況 (南より)

試掘調査

35 戸坂遺跡群 四ッ塚遺跡 I

所在地 佐久市大字新子田字供養塚866他1筆
開発主体者 佐久市
開発事業名 老人福祉拠点推進事業
調査期間 平成10年2月19日～2月20日
面積 7,500m²
調査担当者 上原 学



戸坂遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

遺跡は佐久市新子田地籍の標高705m付近の台地上に展開し、調査区は旧三井小学校跡地である。この敷地内には以前、数基の古墳が存在していたとされるが、現在は四ツ塚古墳1基がその姿をとどめている。

今回、佐久市による老人福祉拠点推進事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西・南北方向のトレンチを37本設定し遺構の確認を行った。その結果、古代の住居址6軒、中世と思われる竪穴状遺構2棟、溝3本、時期不明の土坑6基、溝1本を確認した。このうち、古代の住居址は調査区北端に集中して確認され、南からは一軒も確認できなかった。よって、集落は調査区の北側に展開するものと考えられた。また、今回の調査からは、以前存在したとされる古墳の痕跡は認められなかった。

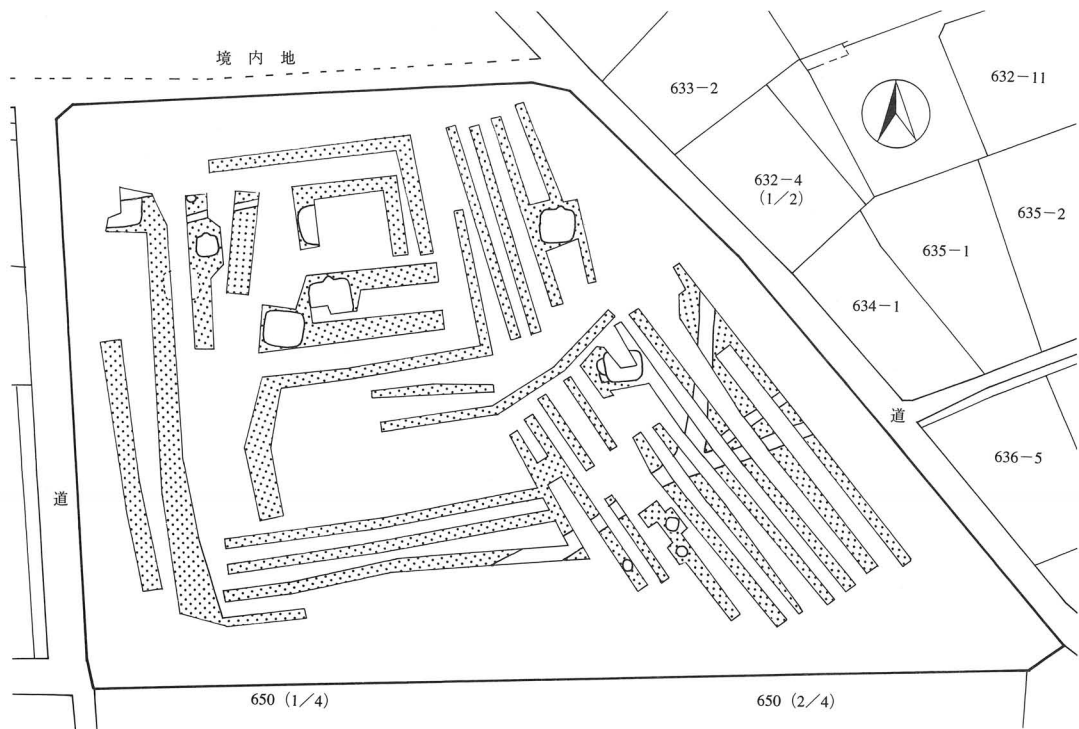
遺物は住居址上面から土師器片が出土した。



戸坂遺跡群 調査区遠景 (南から)



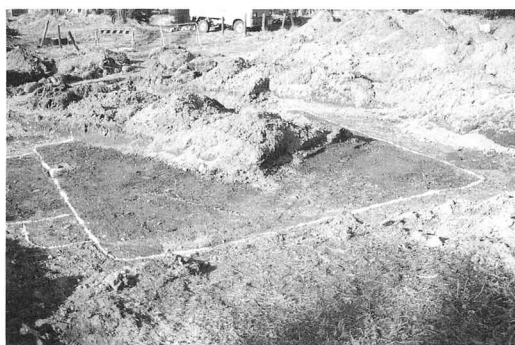
戸坂遺跡群 西側調査トレンチ (北から)



戸坂遺跡群 調査全体図 (1:1,000)



戸坂遺跡群 住居址検出状況



戸坂遺跡群 住居址検出状況



戸坂遺跡群 西側調査トレンチ (北から)



戸坂遺跡群 調査区南側土坑検出状況 (北から)

試掘調査

36 番屋前遺跡群10

所在地 佐久市大字中込字平尾道 2913

開発主体者 日本道路公団東京第二建設局
佐久工事事務所

開発事業名 事務所建設

調査期間 平成10年3月18・19日

面積 1,961㎡

調査担当者 三石 宗一

立地と経過

番屋前遺跡群は佐久市の中央部、佐久市大字中込に所在し、標高698～690m内外を測る。遺跡群の東側は田切り地形が形成され、北側には隣接して野馬窪遺跡群・猿久保屋敷添遺跡・寺畑遺跡群が展開している遺跡群内北側には金比羅塚古墳・御経塚古墳が存在し、平成8年度には番屋前遺跡Ⅰ

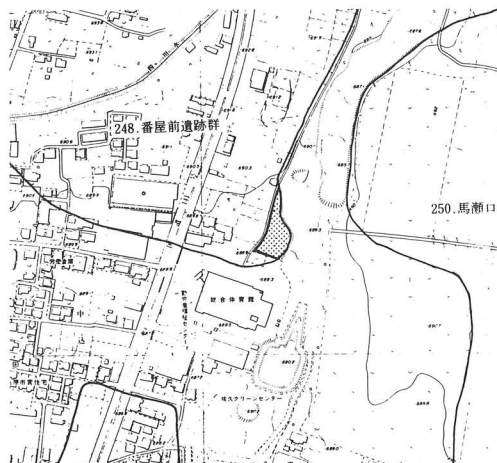
・Ⅱの発掘調査が行われ、溝状遺構・土坑

・井戸址が調査されている他、9地点の試掘・立ち会い調査が行われ、本調査地点の北方約200mに位置する番屋前遺跡6では平安時代と思われる竪穴住居址2棟が検出されている。今回の調査地は遺跡群南東端の田切りに接する縁辺部にあたる。

今回、日本道路公団東京第二建設局佐久工事事務所により事務所の建設が行われることになり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

今回の開発予定地は現在グラウンドとして利用されているが、東側大半は田切り地形の低地部分にあたるため、調査は遺構の存在が予想される西側1,961㎡についてA～Fの6本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。調査の結果、調査区内は50cm～1mの埋土が行われており、埋土下より調査区西端のAトレンチ西半部・Bトレンチ内で遺構確認面である砂層がみられたが、Aトレンチ東半部・C～Fトレンチ内は黒色土・砂が堆積する低地内にあたり、遺構・遺物ともに確認されなかった。



番屋前遺跡群10位置図（1：10,000）



番屋前遺跡群10近景（北方から）



番屋前遺跡群10調査全体図 (1 : 1,000)



Bトレンチ (南方より)

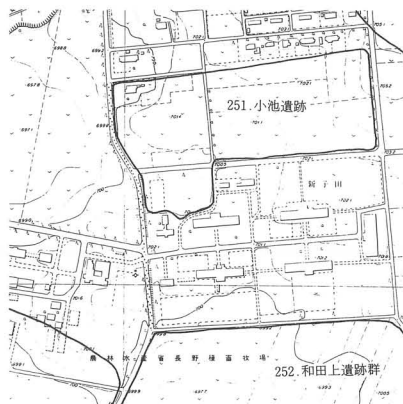


Dトレンチ (西方より)

立会調査

37 小池遺跡

所在地 佐久市新子田
開発主体者 長野県（佐久建設事務所）
開発事業名 信号改良に伴う道路拡張工事
調査期間 平成9年6月3日
面積 約280㎡
調査担当者 小林眞寿



小池遺跡位置図（1：10,000）

立地と経過

長野牧場信号付近は遺跡範囲に含まれないものの、小池遺跡、和田上遺跡群、馬瀬口遺跡群に隣接するため立会調査を実施した。

調査の結果

遺構・遺物ともに存在しなかった。



小池遺跡調査風景

立会調査

38 野沢館跡（隣接） 2

所在地 佐久市大字原字屋敷416-1他
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 県単街路事業
調査期間 平成9年10月20日～10月21日
面積 5160㎡
調査担当者 富沢 一明



野沢館跡 位置図（1：10,000）

立地と経過

野沢館跡は佐久市大字原に所在し、標高は675m前後を測る。遺跡周辺は野沢の市街地が形成され、遺跡確認には困難を伴う地域である。現在の野沢館跡は80×110m程の方形の堀と土塁が残存し、館内部には大伴神社が鎮座する。この館跡は鎌倉時代以降活躍した伴野氏によって築かれたものと考えられており「一遍上人絵伝」にも当時の伴野氏館の活況な様子が描かれている。これらのことから館及び館周辺には中世遺跡が色濃く存在すると考えられている。

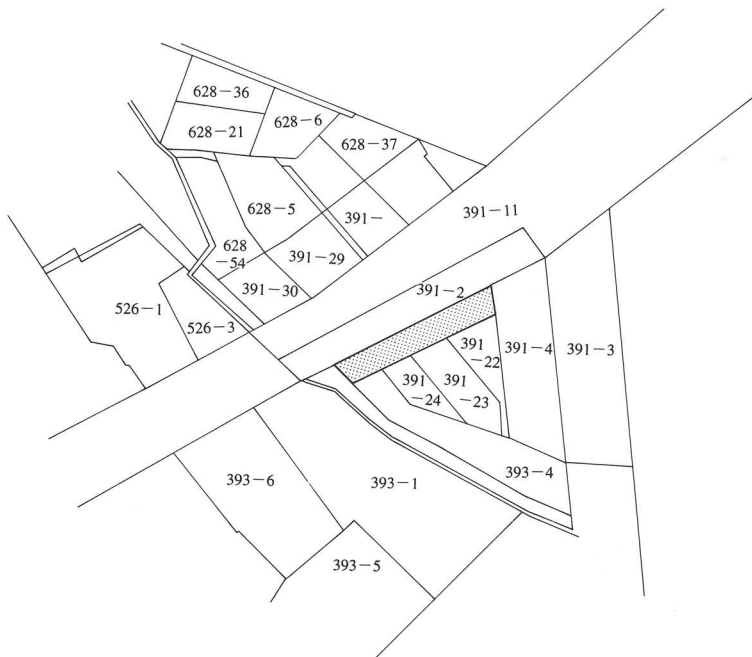
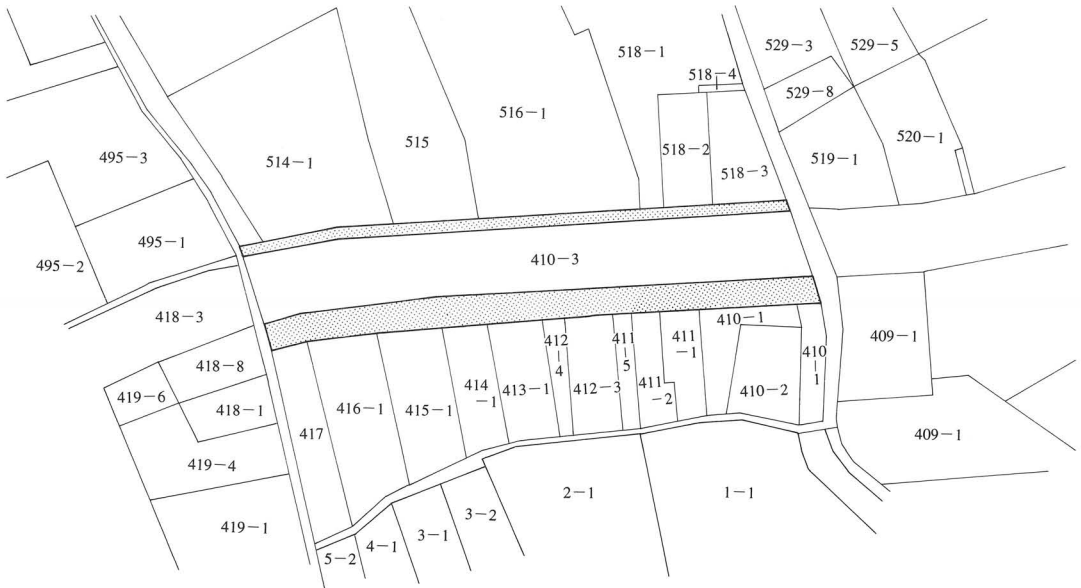
今回、佐久建設事務所に街路事業が計画された。教育委員会では、遺跡の範囲外であるが上記の理由などから立ち会い調査を行うこととした。

調査の結果

開発対象地内の工事中に立ち会い調査を行ったが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



工事状況（東より）



野沢館跡隣接調査全体図 (1:1,000)

立会調査

39 金山遺跡（隣接） 2

所在地 佐久市大字跡部字舞台9-1他

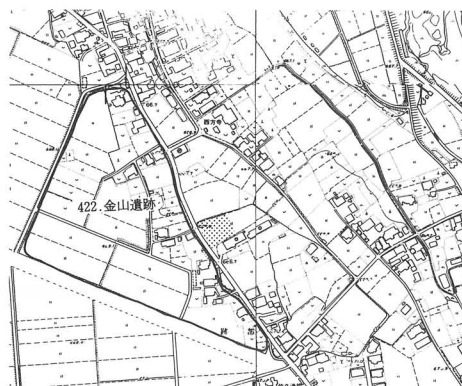
開発主体者 (株)馬場印房

開発事業名 工場建設

調査期間 平成9年12月5日

面積 1500㎡

調査担当者 富沢 一明



金山遺跡 位置図 (1:10,000)

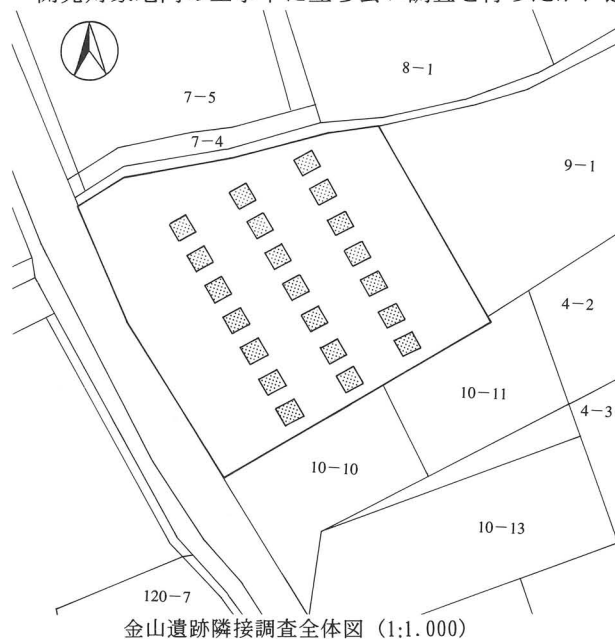
立地と経過

金山遺跡は佐久市大字跡部に所在し、標高は667m前後を測る。遺跡の東方400mには千曲川が北に流れている。今回の立ち会い調査を行った場所は、遺跡の東隣にあたり、野沢地区においては圃場整備が行われなかった数少ない所で、旧来の地形を保っている場所である。周辺の遺跡としては本調査されたものはないが、今回の開発地点より南300mの場所が平成7年度に試掘調査され、古墳時代後期から平安時代の竪穴住居址3軒と縄文時代後期の深鉢片が検出されている。

今回、(株)馬場印房によつて工場建設が計画され、当教育委員会では、遺跡の範囲外であるが上記の理由などから立ち会い調査を行うこととした。

調査の結果

開発対象地内の工事中に立ち会い調査を行ったが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



建物基礎部分掘削状況 (南より)

立会調査

40 前田遺跡群 4

所在地 佐久市大字塚原字前田1219-1他

開発主体者 佐久市（新幹線高速道課）

開発事業名 市道8-71号線道路改良工事

調査期間 平成10年3月6日

面積 600m²

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

前田遺跡群は佐久市大字塚原に所在し、標高665～685mを測る。当遺跡群の北方には姫子石古墳群、東方には宮の塚古墳が存在する。平成8年度には市道12-1号線改良工事に伴い、姫子石遺跡の発掘調査が行われ、中世から近世と考えられる溝状遺構9本、竪穴状遺構1基、土坑25基等が調査されている。

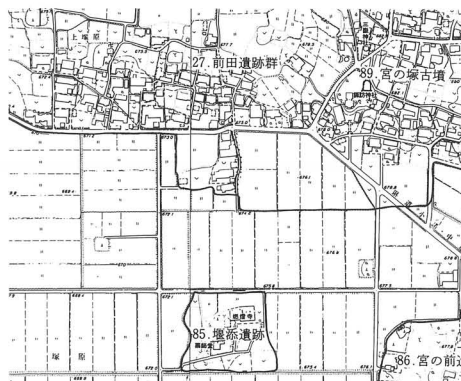
今回、佐久市新幹線高速道課により、市道8-71号線道路改良事業として道路の拡幅が計画されたため、立会い調査を実施した。

調査の結果

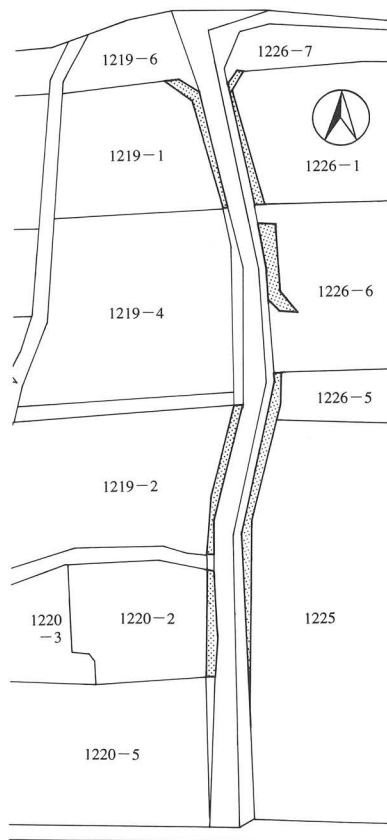
道路拡幅部分について立会い調査を実施したが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



工事風景（西より）



前田遺跡群 位置図（1：10,000）

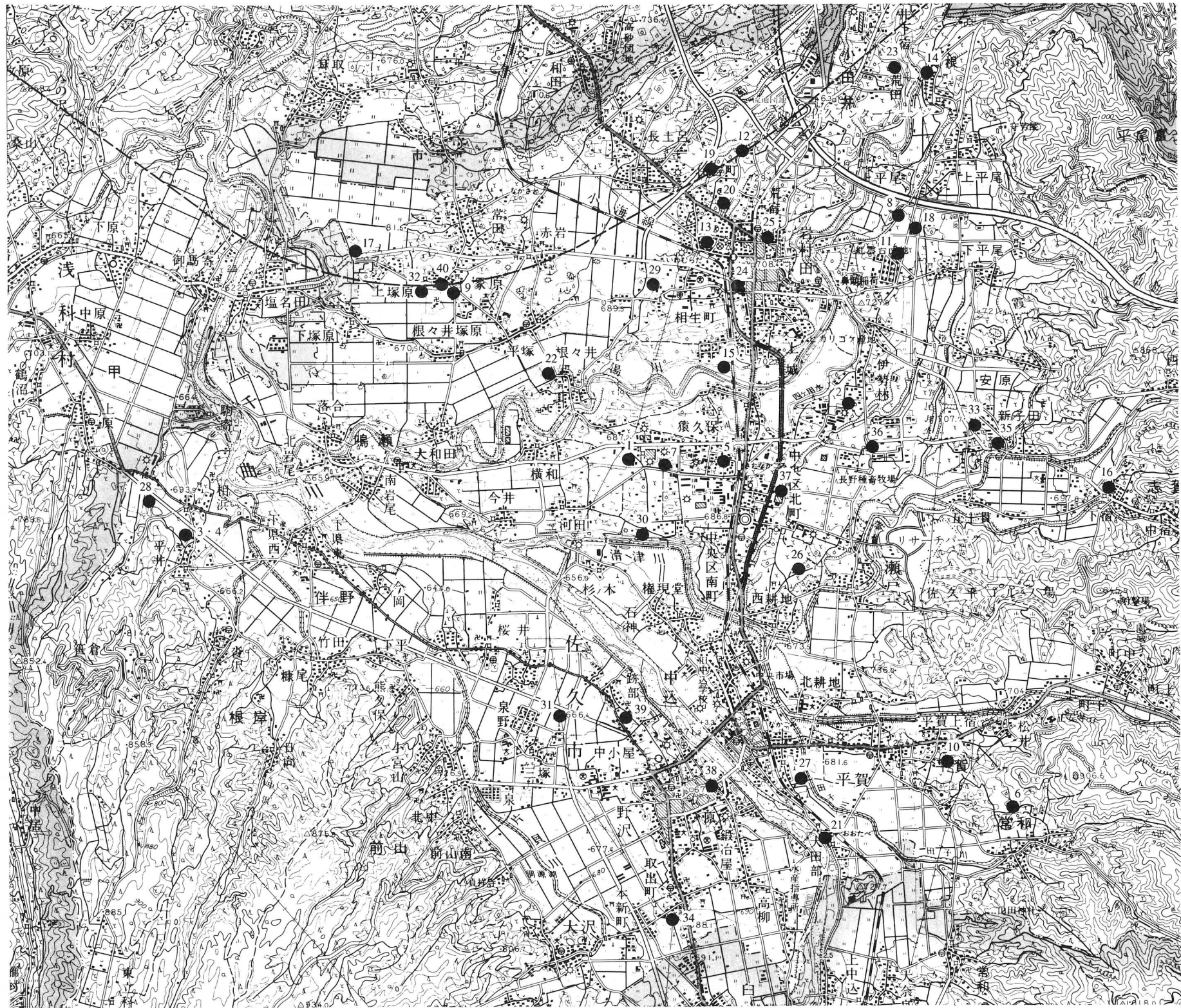


前田遺跡群調査全体図(1:1,000)

1997年度(平成9年度)市内遺跡発掘調査一覧表

1997年度(平成9年度)市内遺跡発掘調査一覧表

No.	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	開発面積(㎡)	保護措置	調査期間	担当者
1	宮の上遺跡群 割地遺跡	佐久市土地開発公社	横和	住宅団地造成	10,890	試掘	4.1~4.11	羽毛田
2	蛇塚B遺跡群2	与志本林業(株)	新子田	宅地造成	2,904	試掘	4.3~4.4	須藤
3	立石遺跡4	山浦太郎	根岸	農地造成	6,783	試掘	4.16~4.17	須藤
4	立石遺跡5	(株)中木屋	根岸	駐車場造成	3,883	試掘	4.16~4.17	須藤
5	西妻神遺跡	TDK株式会社	中込	社員寮建設	5,042.7	試掘	5.6	小林
6	西久保古墳群	トーヨコ地所株式会社	平賀	宅地造成に伴う公園造成	2,629	試掘	5.21~5.23	小林
7	中原遺跡群(隣接)12	佐久市土地開発公社	根々井	工業用地造成	2,500	試掘	5.27	須藤
8	西大久保遺跡群 西大久保遺跡Ⅲ	佐久建設事務所	上平尾	道路改良工事	1,260	試掘	5.28	富沢
9	前田遺跡群2	佐久建設事務所	塚原	県単道路改良事業(新幹線関連)	391	試掘	6.5~6.6	林
10	平賀城跡4	(宗法)大林寺	平賀	墓地造成	845	試掘	6.10~6.13	羽毛田
11	西大久保遺跡群5	富士ケミカル株式会社	上平尾	倉庫建設	1,259	試掘	6.17	須藤
12	枇杷坂遺跡群 下穴遺跡1	(有)サンコー地所	岩村田	宅地造成	1,406	試掘	6.19・24・27	三石
13	岩村田遺跡群18	佐久市 区画整理課	岩村田	岩村田西本町沿道土地区画整理事業	6,072	試掘	7.22~8.1	三石
14	芋の原遺跡群2	(株)大地	横根	宅地造成	1,300	試掘	7.24	富沢
15	中鳴沢遺跡群	株式会社 モリケン	岩村田	福王寺団地建設工事	19,350	試掘	8.1~8.6	上原
16	志賀神明の木遺跡	佐久市 埋蔵文化財課	志賀	事務所建設	302	試掘	8.6	上原
17	藤塚遺跡3	佐久建設事務所	塚原	県単道路改良	4,894	試掘	8.20~8.22	上原
18	西大久保遺跡群6	依田 一之	下平尾	アパート建設	1,247	試掘	9.5	上原
19	下蟹沢遺跡2	保坂由昭	長土呂	保坂リサイクルセンター新築工事	1,815	試掘	10.8	上原
20	枇杷坂遺跡群13	北佐久農業高等学校同窓会	岩村田	同窓会館建設	492	試掘	10.16	富沢
21	久瀬遺跡1	佐久建設事務所	太田部	緊急地方道路整備事業 (県道川上佐久線)	1,904	試掘	10.21~10.25	林
22	根々井大塚古墳2	佐久建設事務所	根々井	道路改良工事	224	試掘	10.27~11.27	富沢
23	跡坂遺跡群跡坂遺跡	佐久市 耕地課	横根	団体営農道整備事業島原地区	4,320	試掘	10.28~11.7	林
24	岩村田遺跡群 柳堂遺跡	佐久市 企画調整課	岩村田	子供未来館建設	5,200	試掘	10.30~11.10	林
25	岩村田遺跡群 菅田遺跡V	龍雲寺住職 宮下孝海	岩村田	龍雲寺増信徒会館増築	615	試掘	11.11~11.14	上原
26	深堀遺跡群他3	佐久地力事務所	瀬戸	瀬戸原農村活性化伴環境整備事業	15,000	試掘	11.18~12.25	三石
27	新町遺跡4	平賀新町土地区画整理組合	平賀	土地区画整理	21,000	試掘	11.21~11.25	須藤
28	石附遺跡Ⅳ	佐久市土地開発公社	根岸	岸野工場団地造成事業	566	試掘	11.26~12.1	富沢
29	松の木遺跡(隣接)	大井保弾	岩村田	貸店舗建設	1,114	試掘	12.2	小林
30	中原遺跡群 梨の木遺跡Ⅳ	(有)サンエイ開発	中込	宅地造成	744	試掘	12.3~12.5	三石
31	市道遺跡Ⅱ	ルートイン佐久株式会社	三塚	ホテルルートイン佐久建設	2,230	試掘	12.11~12.13	富沢
32	前田遺跡群3	佐久市 新幹線高速道課	塚原	市道8-112号線道路改良工事	2,850	試掘	2.13~2.18	富沢
33	戸坂遺跡群 供養塚遺跡	佐久市児童課	新子田	佐久市児童館建設事業	1,798	試掘	2.19~2.20	上原
34	白拍子遺跡群4	佐久市 都市計画課	取手町	公園造成	1,506	試掘	2.26~2.28	富沢
35	戸坂遺跡群 四ツ塚遺跡1	佐久市老人福祉拠点整備推進室	新子田	老人福祉拠点推進事業	7,500	試掘	3.16~3.24	上原
36	番屋前遺跡群10	日本道路公団東京第一建設局 佐久工事事務所	中込	事務所建設	1,961	試掘	3.18~3.19	三石
37	小池遺跡	佐久建設事務所	新子田	信号改良に伴う道路拡張工事	280	立会	6.3	小林
38	野沢館跡(隣接)2	佐久建設事務所	原	県単街路事業	5,160	立会	10.20・10.21	富沢
39	金山遺跡(隣接)2	(株)馬場印房	跡部	工場建設	1,500	立会	12.5	富沢
40	前田遺跡群4	佐久市 新幹線高速道課	塚原	市道8-71号線道路改良工事	600	立会	3.6	富沢



付図 1997年度市内遺跡発掘調査位置図 (1 : 50,000)

佐久市埋蔵文化財調査報告書

- | | | | |
|------|------------------------------|------|---|
| 第1集 | 『金井城跡』 | 第36集 | 『蛇塚B遺跡Ⅲ』 |
| 第2集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1990』 | 第37集 | 『西一本柳遺跡Ⅱ 中西ノ久保遺跡Ⅰ』 |
| 第3集 | 『石附窯址群Ⅲ』 | 第38集 | 『南下中原遺跡Ⅱ』 |
| 第4集 | 『大ふけ』 | 第39集 | 『中屋敷遺跡』 |
| 第5集 | 『立科F遺跡』 | 第40集 | 『寺畑遺跡』 |
| 第6集 | 『上曾根遺跡』 | 第41集 | 『曾根新城遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ
上久保田向遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
西曾根遺跡Ⅱ・Ⅲ』 |
| 第7集 | 『三貫畑遺跡』 | | |
| 第8集 | 『瀧の下遺跡』 | 第42集 | 『寄山』 |
| 第9集 | 『国道141号線関係遺跡』 | 第43集 | 『権現平遺跡・池端遺跡』 |
| 第10集 | 『聖原遺跡Ⅱ』 | 第44集 | 『寺添遺跡』 |
| 第11集 | 『赤座垣外遺跡』 | 第45集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1994』 |
| 第12集 | 『若宮遺跡Ⅱ』 | 第46集 | 『濁り遺跡』 |
| 第13集 | 『上高山遺跡Ⅱ』 | 第47集 | 『上芝宮遺跡Ⅴ』 |
| 第14集 | 『栗毛坂遺跡』 | 第48集 | 『池端城跡』 |
| 第15集 | 『野馬久保遺跡』 | 第49集 | 『根々井芝宮遺跡』 |
| 第16集 | 『石並城跡』 | 第50集 | 『藤塚遺跡Ⅲ』 |
| 第17集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1991』
(1月～3月) | 第51集 | 『寺中遺跡 中屋敷遺跡Ⅱ』 |
| 第18集 | 『西曾根遺跡』 | 第52集 | 『坪の内遺跡』 |
| 第19集 | 『上芝宮遺跡』 | 第53集 | 『円正坊遺跡Ⅱ』 |
| 第20集 | 『下聖端遺跡Ⅲ』 | 第54集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1995』 |
| 第21集 | 『金井城跡Ⅲ』 | 第55集 | 『番屋前遺跡Ⅰ・Ⅱ』 |
| 第22集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1991』 | 第56集 | 『聖原遺跡Ⅹ』 |
| 第23集 | 『南上中原・南下中原遺跡』 | 第57集 | 『高師町遺跡Ⅱ』 |
| 第24集 | 『上聖端遺跡』 | 第58集 | 『下穴虫遺跡Ⅰ』 |
| 第25集 | 『上久保田向Ⅳ』 | 第59集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1996』 |
| 第26集 | 『藤塚古墳群・藤塚Ⅱ』 | 第60集 | 『曾根城遺跡Ⅱ』 |
| 第27集 | 『上久保田向Ⅲ』 | 第61集 | 『割地遺跡』 |
| 第28集 | 『曾根新城Ⅴ』 | 第62集 | 『野馬久保遺跡Ⅱ』 |
| 第29集 | 『筒村遺跡B 山法師遺跡B』 | 第63集 | 『西大久保遺跡Ⅲ』 |
| 第30集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1992』 | 第64集 | 『梨の木遺跡Ⅳ』 |
| 第31集 | 『山法師遺跡A 筒村遺跡A』 | 第65集 | 『中宿遺跡』 |
| 第32集 | 『東ノ割』 | 第66集 | 『中西ノ久保遺跡Ⅱ 仲田遺跡 寺畑遺跡Ⅱ』 |
| 第33集 | 『聖原遺跡Ⅶ 下曾根遺跡Ⅰ
前藤部遺跡2』 | 第67集 | 『供養塚遺跡』 |
| 第34集 | 『西一本柳遺跡Ⅰ』 | 第68集 | 『前藤部遺跡』 |
| 第35集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1993』 | 第69集 | 『高山遺跡Ⅰ・Ⅱ』 |
| | | 第70集 | 『観音堂遺跡』 |

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第71集

市内遺跡発掘調査報告書1997

1999年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市大字中込3056

埋蔵文化財課

〒385-0006 長野県佐久市大字志賀5953

TEL 0267-68-7321

印刷所 株式会社 中信社